明治三十九年八月十日第三種郵便物認可

京城日報

本紙定價　毎日發行　一部金五錢　▲壹ヶ月前金壹圓貳拾錢▲參ヶ月同參圓四拾錢▲六ヶ月同七圓六拾錢▲郵券代用一割増
廣告料　五號十四字詰一行　一圓卅錢▲同特別二圓六十錢▲二號七字詰二圓六十錢▲四號九字詰▲六號十六字詰金一圓三十錢
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話番號長六千九番・長六千九二番（振替京城三〇〇）

物價の前途　長崎　臨一

戰爭景氣の爆發

我物價は戰時より戰後に亙つて異常なる騰貴を續け昨春三月に及んで實に開戰前に比し二百四十割の大暴騰を見たるが然も之が原因をなすものは戰爭による生產の破壞と物資需要の激增により需要供給のバランスを失ひて茲に世界的物資の不足を訴へ、剰へ通貨の大膨脹を齎して世界的物價の騰貴を馴致したるに我國も亦內地に資金流入して購買力を增進したること、更に騰貴の繼續に依り物資として所持すれば自ら巨利を獲るを以て生產の擴張買占め買措み等の投機要の旺盛こなり遂に差益を目的こする投機的買煽りの結果世界の比例を絕脫して空前無比の大騰貴を告げたるに在り

世界無比の暴騰

卽ち昨年三月の物價騰貴の絕頂時代の各國物價を比較するに戰前の大正三年の總平均に比し米國は十五割強の騰貴に止まり遙に日本の下位に在り英國は二十一割內外の騰貴にて亦日本の騰貴に及ばず佛國は四十五六割伊國は五十二割の騰貴にて日本よりは高率なるも然も當時の爲替相場は日本こ平衡を維持するは獨り米國のみにして、英國は二志四片、佛國は五法、伊國は五法、相場が二十錢に低落せるを以て我が貨幣に換算すれば英國の二十一割の騰貴は實は十七割內外の騰貴佛國の四十五六割は實は十八九割の騰貴に過ぎず伊れも日本の二十四割の暴騰に及ばざるや遠し伊太利に至つては更に利の暴落の爲め實は佛國よりも騰貴率は低位に居れり

果然大反動來

斯の如く日本のみが世界列國の比例を超ねて物價の騰貴を演ずるや遂に輸出貿易の不振に陷するは當然にして卽ち最近の逆貿易は物價騰貴に主因せり然も我が投機熱は未だ之を自覺せず盛に買占め買惜みをなし且つ差益を目的こする買煽りをなしたる結果物價の騰貴率は愈常軌を脫したるが然も眞の需給關係に起らずして寧ろ實際の需要は海外輸出を失ひ內地消費を減じて漸く減少せるに拘らず單に思惑の假需要を相手に空相場を煽り上げたるものなれば一朝投機熱の醒むる時は砂上の樓閣は滅びざるべからず資信用が顚倒してオバー、ツレード、オバースペキュレーションに投機熱は遂に信用の緊縮こ貿行不振の事實に接するや滿腹の物資の過分に窮し茲に一大反動を齎し投賣頻出し物價瓦落し信用減縮して愈金融の梗塞を來し徒に巨額の滯荷を抱いて便々たる大破腹を引汐の跡に曝さざるを得ざるに至れり僅に當局の金融援助こ各自の警戒に依りて恐慌は惹起せずして稍安定を維持せるも商取引は激減し物價は下落を繼續して今日に於ては昨春三月の頂上より二割餘の下落を示せり

物價益下落せん

然しながら小賣相場は我が經濟組織の不備こ一は未だ價格勢銀の大なる下落を見ざるが故に比較的に實行ありて大なる下落を見ざるも然も實業家の大打擊を受け且俸給生活者は多年の物價騰貴に疲憊し購買力の彈力乏しく殊に財界不況の結果は早晚失職者の增加勞力の過剩を來し之等の賃金も低下して勢ひ購買力を減じ又農民は米價を始め蠶絲其他の下落こ農產物の不況に依りて生活力減縮し結局一般の消費力は減退する者こ見るべく自然小賣相場も下落し內地の關係より見れば物價は今後も低落するを當然の勢ひこす若し夫れ海外關係は旣に昨春三月が我が物價の最高なる上歐米の經濟界は其の後愈惡化して取引の減退こ金融の梗塞物價下落の步調を一にしその物價下落率は日本よりも大なる故に今日の我が物價にて輸出を振興せんこするは木に據りて魚を求むるの類なり從つて我が輸出は此の儘に放任せんか愈萎縮の外なかるべく需要の不振生產の沈滯失職者の頻出は互にその因果こなりて物價下落[illegible]べし

[illegible]手段破綻期

[illegible]の維持を努めしにありさらでだに高價なる物資を內地の需要減退し海外の物價暴落に際し我が國獨り維持せんこせば金輸出は困難こなり貿行は不振こなり滯荷は依然停屯し金融界の不況を釀成するは當然なり卽ち今日の狀態はなほ一、多額の滯荷を存し二、不健全會社の存在し三、放漫なる貸出回收されず四、輸出の不振五、內地景況の衰退等の事實を存し之等の一掃の途を講ぜざれば財界も回復せず物價の依然低落すべくその不自然なる價格維持策の破綻は恐らく本春三月の候を以て襲來し商品も有價證券も更に一齊に大瓦落を演出すべし

英の支那通商機關對策

空中飛行こ無線電信

昨年晚秋上海英國高等法院に於て開かれたる支那香港に於ける英國商業會議所第二回聯合大會席上に於て英國の對支政策をトするに足る幾多興味ある演說試みられたるが就中北京公使館商務官英國商業會議所委員會議長アーチボルド、ローズ氏が空中飛行こ無線電信に關して爲したる左の演說は英國が支那に於ける將來の二大通商機關に對する方針を窺ふに足るものなり

最後に余は空中飛行こ無線電信に關して斷言せんこ欲す。最近支那に於て開始せられんこする此二種の通商機關は多くの批評こ誤解こを被れり。此の如き議論は此國に於ては尙早、殊に支那の金融逼迫こ不振なる貿易こは一層保守的政策を執るとの更に賢明なるを示し居るに非ずやこの議論も行はれたり。是一理なきに非ざるも吾人は次の事實を記せざるべからず。

是等贅澤物

を飜て必ずこするこ、彼等は或る條件の下に何處かに其の所有すべきこ、又其を實際に使用し得る十分の可能性あるこ然れこ支那に取りて望ましきことを勸むるも其は實際に於て行はれ難きこ等是なり。而して支那國民は自ら最も能く此等の教訓を學ぶべし。英國の製造家及商人は支那國民に多量の飛行機材料こ無線電信材料こを賣却せり。而して余は惟ふ、吾人の當に執るべき態度は

十分の我慢

こ忍耐こを以て夫れ等の材料が支那自身の利益の爲に生產的且有効に使用せられむこするにありこ。大規模の無線電信局は常に北蒙古の庫倫に於て其の工事を了れり而して該工事を監督せる技師長は、其の使用せる支那の機械工に就て彼等は驚くべき能率を以て彼等の工事を完成し現在に於ける世界の記錄を作れりこ證言せり彼は今や

中央亞細亞へ渡航中

なるが其の目的は此の大國の一端より其の地へ無線電信の聯絡を附けむが爲なり若し是等の電信局にして適當に使用せられむか夫れ等は政治的にも經濟的にも支那こ其の隣接國こを聯絡する最も有力なる素因たるべし。飛行機に關しては我政府は英國の最も卓越せる飛行機大家を支那政府に提供し支那は亦吾人の提供せる飛行機を

唯通商上に

のみ使用せんこしつゝあり又余は支那政府の飛行局が北京上海間の航空路建設を計畫しつゝある事實を知れり。而して既に其の實施方法が講ぜられ今春愈實行に着手すべき見込なりこ云ふ該航空路は全く試驗的のものこ認むべく若し其の試驗にして成功せんか漢口、四川其の他支那の主なる地方を聯絡する航空路も建設さるべく其の結果支那の經濟に資する所甚大なるべし

加藤子の質問　某消息通談

去る二十四日貴族院に於ける加藤子の西伯利撤兵問題の質問に就ては一般に大成功なるが如く觀察し憲政黨員亦黨首の成功こして歡喜しつゝある如く傳へらるゝも蓋し之政界の情誼に通ぜざる素人評たるに過ぎず▲惟ふに今日一黨の首領こして政府に質問すべき材料こしては西伯利撤兵問題のみならず幾多の問題ありて攻擊又は質問の材料に苦しまざるなり然るを加藤子が西伯利問題にのみ局限して質問を發しお得意の外交問題に觸れざりしは事機微に觸るゝの虞あることして之を避けたるは氏が例の對支交涉事件に於ける二十一ヶ條其他に就て政友會側より逆襲さるゝを惧れ所謂觸らぬ神に祟りなしの兵法に出でたる者ならん▲而して加藤子こして財政問題には不案內の嫌ひあり又專門の外交問題に就て前述の如き古傷あるを以て已むなく西伯利撤兵問題を選べるものなるべく子こして實に窮餘の窮策こ云ふの外なし若し憲政會中眞に同黨の復活を策し現在の窮地を脫せんこ企圖せる達識の士ありしならば加藤子をして斯かる問題を提けて上院の壇上に起たしめざりしならん

▲何こなれば西伯利撤兵に就ては陸海軍の反對あるを知らざる可からず假に政機動きて他日憲政會に政權が廻り來るこするも總裁が堂々こ撤兵を主張するに於ては何人か陸海軍の首班こして閣員に列するを承諾すべき卽ち憲政會內閣には陸海軍の反對あるこ明かにして遂に加藤內閣の不成立に終るべきや明瞭なり故に加藤子の質問は素人目には成功なるが如きも子の政治的立場を失はしめたる大損失に至りては素人的好評を贏ち得たる位にて償ひ能はざるなり憲政會中に其人なく斯る拙策に出でしめたるは遺憾こ云ふの外なし云々（京支局）

大分の共進會　規模と設備

三月十五日から大分市で開催される九州沖繩八縣聯合共進會は目下全力を盡して開會準備中で九州に開かれた共進會中規模の大なる事は今回が第一である

會場は

第一會場第二會場の二ヶ所に分れ第一會場は新築工事中の大分縣廳舍を充當す同縣廳舍は大正八年度より二ヶ年繼續事業として總工費七十二萬二千百八十圓を投じて總坪數二千百二十坪延坪物約五百餘坪を超ゆる階下及び階上の一部を陳列場及び休憩室として參考品及古書畫の陳列をなす豫定である

古書畫

は古來同縣の名物田能村竹田貫名海屋等其他書畫名匠の遺墨等多數を陳列する筈で此の縣廳舍が加ふるに物價騰貴に依る同縣財政の困窮に迫られ特に時局の影響で準備費としての各道路開鑿工事其他に多額の費用を要し最も苦境に陷つた際最大限の經費で新築せしもので此の共進會を通じて古美術展覽會場たるに過ぎない

共進會

の主體は大分市新川なる第二會場である第二會場は總敷地三萬九千四百六十二坪にて共進會費（三十一萬七千二百四十九圓）は殆ど第二會場費と稱するも不可なく大分驛前なる電車停留場を距る北方に突き當り會場の入口左側に大分縣商、名古屋、京都、東京の賣店、右側に熊本、宮崎、佐賀、沖繩、鹿兒島各縣の賣店と一般賣店があつて全國の特產品を販賣する賣店の奥に鄰國消防警察會館等あり賣店の中を迺り抜くれば正面に

大建築

天を摩して聳立する塔屋は高さ八十尺其の下には豐後史上最も光彩を放てる快傑大友宗麟が長槍を振つて立てる石膏の大像を作るべく同縣出身の彫刻家朝倉文夫氏に其の製作を託し光彩を添ゆる本館は兩翼を張りたる大鵬の如く左翼は全部工業館、右翼は工業館、水產館、林業館、鑛業館で本館の裏に鐵道館、朝鮮館、滿蒙館、演藝館が出來る

朝鮮館

は朝鮮總督府、滿蒙館は南滿洲鐵道會社の出品で同地方特產品の外に綿羊飼育及び蒙古人の生活等を見せる東京府からも相當の出品がある筈だ（大分特信）

雜誌抄

佛國工業の大勢　工學博士西田博太郎氏

佛國工業の大勢が獨逸スパー會議の決議と自國內炭坑區の大荒廢との爲意外の打擊を受けつゝある有樣である。而も戰亂に因く其の國債の增加は實に世界中獨逸に次ぐ多額に上り其の本國のみで總額二千九百二十億圓に當り最近一億弗の公債を米國で發行した有樣である（新公論）

呪ふべき貴族的佛教

佛教の弊は今猶佛教全體に漲り居る貴族的氣分卽ち封建主義的なることである、これは佛教が始めて傳來した時貴族階級を通したからかも知れぬ、それでも鎌倉時代に平民主義を發揮した淨土でも眞宗でも矢張り貴族氣分の取れぬのを見ると德川時代に佛教が異常な保護政策の下におかれたのが今尙禍をなして居るものと信ぜられる。儀式の上からも、歷史から見ても貴族佛教であることは當然の事情であらう禪宗は唯一の眞行上貴族的傾向をもつて居るが、其の主義は最も平民的平等でなくてはならぬ然るに此禪宗にも階級的氣分の大いにつくのは不思議で、眞宗の如きは全然一つの處があるべきもの、然るに反對の一つと見るべきもの、是れ又階級精神に充ちて居る、本來の眞面目を發揮しなくては其の革新は望まれぬ共進步は期せられぬ（鈴木大拙氏）

淑女畫報　寸鐵　二月號

淑女畫報　正價七拾錢　送料二錢

フェミニズム　法學博士谷本富
聲樂家から主婦へ　竹內繁子
祐天吉松　西川光二郎
秘藏の寫眞　青澤波
義士と人氣
敎賀女と美濃男
◎哀れな驛長…銀白◎媒介所の悲喜劇◎建札に救はれた人々
畫報：◎婦人敎育會の有栖川宮妃殿下◎九條夫人歡迎會◎月岡女史門下の夫人
梅日和（オフセット版）　聽さき（原色版）
◎西本願寺法主の令孃◎人の小說の調べ◎北小路子爵と三浦公使の家庭
不思議な旅人　懸賞遊戲判じ
◎花の音樂　法月◎染織流行會の華　堅一◎名作畫譜◎新婚頌歌◎鏡が鳴る◎クララの花
小說　復讐　吉井勇
長篇小說　銀の火柱　厨川道太郎
家庭小說　艶星　前田曙山

寸鐵　正價二拾錢　送料一錢

全國郵便貯金地圖
社會奉仕と新時代青年　三島
米非賣と常平倉
米國鐵道員同盟罷業
加州邦人墓地
○ニヨジカルシウム○職に迷ふ青年達へ○新しき村の半年○樹の年輪で天災豫知
澁澤翁の先驅者　北の保さん物語
發明立志　狸の奇蹟　君塚邦彥
天理教の正體暴露
○大場所八百長物語○明治神宮の奉饒○昇格運動と同盟休校○我畜ならの下の力持一平
青年小說　錆びたる鍬　青木健作
不逞鮮人の娘　天來
行方不明の廢王　望月紫峰
宣教師殺し　某老檢事
瓦斯爆發　大坪潮聲
十大縣賞新題と發表

東京市本石町　博文館　振替東京二四〇

專賣特許 新案品　發明家養成講義錄

殊に一貫から巨萬の富を造るは發明と家なるに在る本校は國家的大事業として大發明家を養成せんとす…成功の第一人者たれ（規則ハガキ申込次第進呈）

大日本發明通信學校　東京市小石川東青柳町三三

株式會社第一銀行　第四十九期營業報告　貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	五〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
積立金	二五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸預金	三七七、三六三、二三一・七六
公金預金	二、〇〇四、四二七・五〇
定期預金	一六七、九八二、一九九・九一
當座預金	七六、八〇六、四一五・二一
特別當座預金	五〇、〇九二、九二一・三七
通知預金	六一、〇一四、八三〇・三三
諸預金	一九、四六二、四三七・四四
他店勘定	六、三九八、八八〇・四六
賣渡外國爲替	九二、〇九一・七八
仕拂承諾	一〇、七七五、一八一・五七
銀行券銷却資金	三、五四六、〇〇〇・〇〇
本支店間未達勘定	七〇三、五二八・六五
未拂配當金	一〇、二九八・〇九
未拂利息及未經過割引料	六、四一六、〇五五・〇三
前期繰越金	一、四六五、三三七・三九
當期純益金	五、六〇六、〇九一・二五
合計	四八七、三七六、六九五・九八

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	二〇、四七五、〇〇〇・〇〇
諸貸出金	三三四、四六九、五五一・六八
證書貸付	七、三四四、〇八四・二一
手形貸付	一八九、〇九三、六四〇・一五
當座預金貸越	一六、二二六、六九三・六〇
通知貸	三二、五〇〇、〇〇〇・〇〇
割引手形	八七、六七四、〇六七・四九
荷付爲替手形	一、六三一、一〇六・二三
他店勘定	三、一四一、八三二・四五
買入外國爲替	一、四三〇、五七九・三五
仕拂承諾見返	一〇、七七五、一八一・五七
諸公債證書	六一、五六六、七五七・六二
社債券	一三、七四三、三八六・五〇
株券	三、一〇三、六七〇・一七
營業用土地建物什器	四、四〇五、六二九・五一
所有不動產	九、二四一・〇〇
預ケ金	八、七〇一、六九二・二四
現金有高	二五、五五四、一七三・八九
合計	四八七、三七六、六九五・九八

利益金勘定

科目	金額
當期純益金	五、六〇六、〇九一・二五
前期繰越金	一、四六五、三三七・三九
合計	七、〇七一、四二八・六四
內　役員賞與金	二八〇、〇〇〇・〇〇
行員恩給及退職給與金	一一二、四二〇・〇〇
積立金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
舊株配當金（年壹割貳分）	一、三六二、〇〇〇・〇〇
新株配當金（年壹割貳分）	四〇九、五〇〇・〇〇
後期繰越金	一、九〇七、五〇八・六四

大正十年一月　東京市日本橋區兜町壹番地　株式會社第一銀行

頭取　佐々木勇之助
常務取締役　石井健吾
常務取締役　野口彌三
取締役　杉田富
取締役　熊谷辰太郎
取締役　日下義雄
取締役　佐々木慎思郎
取締役　德川慶久
取締役公爵　西園寺龜次郎
監査役　土岐僙
監査役　竹山純平
監査役　山口荘吉

右各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證ス

最低相場　露國紙幣賣出

賣出價格　壹萬留に付（平時ノ壹留ハ我ガ壹圓參錢ニ當ル）
ロマノフ舊帝紙幣　百九圓　替○現政紙幣參拾五圓　替
ケレンスキー紙幣　百拾圓　替○國庫證券參拾圓　替

露國は敗戰の結果餘儀なく內亂勃發し今尙國內の秩序整はず經濟界は遂に通貨に大影響を及ぼし其間幾多の高下大波瀾を演じ今日に至るも世界に於ても相場の暴落を極め大慘落相場を示して居る…露國の財界の大變動の外無之目下最低相場に依りて賣出す事に致候御用命の程を乞ふ

御申込は現金を以て多少に不拘御買出仕候遠國は電信電話又は郵便にて御註文願上候代金引替郵便にて急送可仕候但代金拾圓以下は可成前金に願上候▲オムスク紙幣は壹萬留に付只の六圓にて提供可仕も信用薄弱且紙幣格粗惡なるに依り御承諾以へは推奬不仕候

公債株式 露貨賣買　敦賀港　中村株式店　長電壹六五 振大五四六九
（△見本は壹圓・切手代用壹割增△）

解放　二月擴大號

議會制度批判
代議制度乎委任政治乎　慶大教授　占部百太郎
議會制度否認の哲學　村松正俊
議會こ議會政治　尾池義雄
議會政策否認の原理　植田好太郎
議會政治存在理由と崩壞　長谷川萬次郎

農民問題研究
社會政策上より見たる小作問題　早大教授　安部磯雄
農業の資本主義化と農民運動　佐野學
失業者歸農問題　小野武夫
小作人の貧窮化と其對策　横田英夫

協同的社會と婦人解放　慶大教授　高橋誠一郎
資本制度の純經濟的機械的崩解の經路　山川均
共產國家と家庭　山川菊榮
英國勞働運動史　荒畑寒村
◎萬國相互扶助◎世界間接射撃◎歐牧野伸十
伯林通信　日本俱樂部の夜　解放特派海外通信員　黒田禮二
北國の自然（◎鑛夫の死◎夕張川◎坑夫の歌）　麻生久
有產者無產者の妻（暗示と諷刺に富みて而も辛辣なる諷刺本誌の獨擅）　新居格　堺利彥

創作四篇
ある青年　小泉鐵
家庭　加藤一夫
老若　正宗白鳥
お猿の番人になる迄　如是閑

本號定價八拾錢（稅二錢半）
東京大阪　株式會社　大鐙閣　振替東京三六一八一・大阪一七一五五

朝鮮總督府巡査募集

當分ノ內左記日割ニ依リ內地人巡査採用試驗ヲ行フ志願者ハ願書履歷書寫眞携帶午前九時マデニ出頭セラルヘシ

試驗期日　毎月第三土曜日
試驗場所　京城警察官講習所

仁川水產株式會社　第廿七回決算報告

大正九年十二月三十一日現在　貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込金	五二、五〇〇・〇〇
不動產什器及有價證券	一三、二〇四・五三
銀行預金	一〇、八一九・九三
漁船貸金	三、〇八四・七九
買懸金	一、八六〇・四七
他店勘定	四、五七四・三六
金銀勘定	六〇九・四六
計	八六、六五三・五二

負債之部

科目	金額
資本金	七五、〇〇〇・〇〇
諸積立金	六、六八五・〇〇
未拂金	四〇・八〇
前季繰越利益金	六五八・四六
當季利益金	四、二六九・二六
計	八六、六五三・五二

利益金勘定

科目	金額
當季利益金	四、二六九・二六
前季繰越利益金	六五八・四六
計	四、九二七・七二

利益處分

科目	金額
諸積立金	九九〇・〇〇
配當金年貳割	二、二九〇・〇〇
重役賞與金	三四〇・〇〇
後季繰越金	一、三〇七・七二

右之通リ候也
大正十年一月廿九日
仁川水產株式會社
取締役社長　平山松太郎
取締役　加來榮太郎
同　村谷吉藏
監査役　劉原修一郎
同　守永安三郎
右調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ保證候也

商業登記

朝鮮紙業株式會社取締役…ハ大正九年拾貳月任期滿了ニ付同日重任…京城府…大正九年拾貳月參拾壹日登記

京城地方法院　永登浦出張所

土木講義錄

日本工人俱樂部は專閥を超越した技術者の團體で技術者の覺醒を求めて社會的機會均等を叫ばんが爲に生れ出たものです。本俱樂部の事業の一で本講義錄は帝大教授各技術者の熱心に執筆したもので尙多く技師技術者の缺くる事多き社會上の常識に關する事も面白く記載し、此の外新智識の紹介工人俱樂部の調査事項等面白い記事もあり或は又俱樂部の重大な事業たる職業紹介のことも書いて需要者に便する豫定です

會費　一ヶ年五圓五十錢　半ヶ年二圓八十錢　郵稅不要前金拂込
申込　東京麴町丸ノ內仲町通三菱三號館　日本工人俱樂部　振替東京七四五九番
年限三ヶ年　毎月一回發行　說明書見本　來年一月初號の發行　葉書にて申込次第送る

小說

◎不景氣知らずに安全第一の好副業は貸本です面白くて多く儲かる好副業は小說の貸本です月錢に儲かる貸本店新規開業希望の方は郵券六錢送られよ貸本店開業の手引を呈す●大阪市南區三休橋鰻谷南入　樋口臨文館

朝鮮地方株專門

只今左記の通り出合有之候條不拘多少に御用命願上候

銘柄	拂込	値段
朝鮮中央電氣株（配當落）	五〇、〇〇拂込	三〇、八〇圓
朝鮮瓦斯電氣株	四五、〇〇拂込	一九、五〇圓
鮮殖銀行株	一〇〇、〇〇拂込	二三三、〇〇圓
滿蒙毛織株	一七、五〇拂込	二、五〇圓
京南鐵道株	一五、〇〇拂込	六、〇〇圓
南滿製糖株	二五、〇〇拂込	二二、〇〇圓
南滿鐵道株	一〇〇、〇〇拂込	一二五、〇〇圓
同新株	一五、〇〇拂込	二四、〇〇圓

御買附は御註文さ同時に手附金さして値段の一割御前送相成候はゞ殘金を代金引替便にて直ちに送株可申上候

東京市日本橋區小網町　株式會社　鶴屋株式店
調査部　金融部　信託部　仲介部
電話浪花（長四八七二、長五三六五）（長四八七三、長五四三九）
振替口座東京五一〇一三番
發信略號（ツ）又ハ（ツル）　受信略號（トウケイツル）

第四十四回帝國議會

滿鐵問題論戰

炭坑、汽船買收事件 早速整爾氏の政府攻擊

貴族院本會議（卅一日）

卅一日の上院は午前十時十五分開會請暇の報告あり國務大臣の出席なきたり日程に入り男爵村田經芳君外一名請暇の件異議なく許可に決す此時漸く原首相以下政府委員續々に席に列ぶや德川議長一層おさまり返る

昇格問題

江木千之氏（登壇）本院本會議も既に五日間質問を繼續し私の言はんとする所は殆んど言ひ盡くされたるも尙ほ疑問少からず殊に本會議にては珍らしくも憲政會總裁加藤高明子と原政友會總裁が總理大臣として對戰せられたるは誠に本院空前の壯觀にして兩黨首の應答ぶりには敬意を表するものなり（と冒頭し）本日は所謂昇格問題に就て問ふ所あらんとす此事に關しては過日岡田君より精細なる質問あり又高田君の精細なる質問あり之に對する答辯は略了解せるも首相の昨年末昇格運動に對する態度に徹しても政府の態度は甚だ慊らざるものあり

さて既記の如く秋田鑛山森岡擬林の昇格問題を敍述し之等の昇格運動は何れも文部大臣の言明せる所に因せざるはなし

こ非難し次に山口縣本兩高門學校に於ける專攻科設置に關する運動を述べ「之等は何れも其の學校騷擾の因は文相に出づる所なり」と說き文相に對し皮肉の雨を浴せ一先づ降壇之に對し

原首相（登壇文相の答辯を補足し）政府は昇格運動に對して弊害を認め運動の有無に拘はらず出來るものは出來る出來ないものは出來ないこと戒め居れり

こ答ふ江木氏は再び登壇高師昇格に關して入念に高師創設の精神目的を略說し臨時教育會議の單科大學に對する審查經過を注意し更に首相の答辯を促す

原首相 臨時教育會議の決議は之を尊重するため勅令を公布せり決して實行に努めざるにあらず高師を廢して宜しきや否やは精細に考慮を要すこ答へ之にて正午一日休憩

休憩後

午後は零時半再會

江木氏（文部大臣に質問の鋒先を轉じ）大正八年十一月東京高等師範學校の昇格委員が中橋文相を訪問し其の希望を陳述する所ありたる際文相は大正十年度に於て其の設備規模の適當なるもの數校を選で單科大學こなす旨聲明せりこ云ふが事實なりや

中橋文相 なるべく斯う云ふ計畫を以て進行したいこ申したり

江木氏（之に對し）藏前高工を單科大學にする事を聲明せられたるものこ承知して可なるか（こ念を押せば）

中橋文相 學校調查の一部を話したるのみ

江木氏 夫れは藏前高工を引き放しての話なるか

中橋文相 廣い範圍に亘り斯かる計畫ある旨を話したるものなり

江木氏 然らば此內に藏前高工を含むものこ承知して可なるか（こ肉迫すれば）

中橋文相（苦し紛れにうそ）云ふ御解釋になつても差支ない（こ云ふや）

江木氏（更に首相に對し）大正五年六月本院に於て道德に關する建議案提出せられ大多數を以て可決せり而して各國務大臣が總選擧の推薦狀に署名する事を戒飭したり當時大隈總理大臣は豫算委員會に於て其の事實に對し陳謝したり次に寺內內閣時代に於ても同樣當時の文部大臣は演壇に起つて遺憾に堪へずこ陳謝せり然るに昨年臨時議會に於て特に柳原君の質問に對し原首相は相當の事情ありて其の推薦狀に署名したるは當然なりこ答へたり斯る答辯を考へ合はすれば文部大臣の答辯も亦裏切らるゝやも知れず

原首相 昇格問題は臨時教育會にて決定するものにあらず其の改廢は相當機關に於て問したる上にて決定すべき事を重ねて明言す前科者の推薦狀に署名せる事の是非は罪質罪狀の輕重に拘るものにして何等黨員の建議に矛盾したるものこは思はず

こ答ふ江木氏次に外務大臣に向かつて質問を繼續す

外交問題

江木氏（對支政策に關し）日支二十一ケ條の軍事協定は如何にするや

內田外相之に答ふる所あり尙ほ江木氏の永々しき質問ありて要領を得ず

內田外相 質問の趣旨がドコにあるか解するに苦しむも孫逸仙氏が我の態度を誤解し內地の新聞に其の意見を寄書せし場合は之を除去するは勿論なり將來も之が誤を訂す事を實行すべし

江木氏更に軍閥外交二重外交につき質問を發するや

內田外相 私は外交官に軍事的智識あれば却つて軍國外交こ評せられて然るべしこ思ふが如何ご逆捻を食はす

江木氏 驚き入つた答辯なり（こ露西亞の例を引き外交官に軍事的智識の必要なるを說き次に）田中陸相は臣節を全うすべしこ言明されたり衆議院に於ける質問に對し陸相の答辯せし所によれば辭表を提出せしは事實なるが右の辭表提出は本院に於て臣節を全うすこ云はれし意味にて辭呈せしや（こ詰り）

田中陸相 私は臣節を全うするこ申しました又今日臣節を全うしるたものこ信じて居ります（こ落ち着いて）

琿春撤兵

服部一三氏（登壇）日支親善の急務なるは多言を要せず支那各地に我が兵を駐屯せしむるは國交の妨こならずや又撤兵の意思なきや

原首相 駐屯兵數は陸軍大臣より答辯すべし撤兵に就ては琿春部隊を引揚しむる筈なり北京天津は各國こも駐兵しありて日本のみ撤兵する能はざる事情あり又居留民保護其他の理由のため駐兵し置く必要あり出兵は我が要求が支那に容れらるゝ場合引揚ぐる考なるも其他の地方は引揚けの考へなし

田中陸相 天津に二個大隊派遣しあり漢口は屢々革命及南北戰爭の中心地こなるが故に兵を留むる必要あり濟南青島其他山東には四個大隊又滿鐵沿線には二個大隊を駐屯せしめあり

こ答ふ德川議長此時「之にて質問通告者終了したるを以て日程に入る」こ宣し

日程

大正九年勅令第四百八十五號（承諾を求むるの件）を議題に供し內田外相より簡單なる說明あり一の質問もなく委員附託次の日程は本院發報を以て通知すこ宣し午後三時四十分散會せり（東京電報）

衆議院豫算總會

豫算委員總會第五日目は卅一日午前十時四十分開會武藤委員長「質問はなるべく議論に亘らず簡單になすべし」こ注意する所あり憲政會の

高木正年氏 大正十年度歲入特に租稅による歲入豫算を遂行し得るの確信ありや

高橋藏相 財界の狀況を十分考量して編成せるものにして勿論遂行し得るの確信あり

高木氏次いで營業稅所得稅等に就て課稅の苛酷を詰り八幡製鐵所の大擴張の實情を述べ政府の所信を問ひ高橋藏相數字を擧げて答ふる所あり次に

早速整爾氏（登壇）南滿洲鐵道會社は國家の保護なる一機關にして資本滿洲の經營を一手に引受くるものなれば政府の監督の大切なるは申す迄もなし然るに昨今種々噂せられ居れる所に依れば百鬼夜行の伏魔殿なりこあり然も之は現內閣成立後其の制度を改めて後特に甚し

第一 塔連炭坑の買收に關する件なり同炭坑は採掘七十萬噸一日の出炭量三百噸にすぎず該炭坑は森格、高木六郎氏等の經營によりて經營せられ居れり然るに其の採掘販賣の權利は森氏こ中西滿鐵副社長の手に移り此の權利二百二十萬圓を以て讓渡し契約をなし內金こして三十萬圓を交附せり該炭坑の採掘販賣權は不確實のものなりかゝる炭坑を買入るゝ必要何所にありや

第二は鳳山丸の買入に關する件なり滿鐵會社の分子なる大連汽船會社が鳳山丸の買入に向ひ島船渠會社より五百噸の一汽船買入の約束せるも其の約束を破棄し橫濱船渠にて建造せる八百五十噸の鳳山丸を買入る、理由何所にありや又其の買入値段の如き二百七十六萬餘圓にして一噸三百二十五圓に當りたるが同船の船價は二百七十五圓位なれば甚しく差額あり斯かる高價のものを買入るゝ必要何所にありや

第三は日本電氣化學工業會社の如きボロ會社を買入るゝの必要何所にありや

右の事は何れも昨年三、四、五月頃行はれし事件なり而して當時滿鐵は其の資金を充實せんがため苦心奔走したりこ云ふ事なるが政府は融通資金に行き惱み苦しみて迄も斯くの如きものを買收するの必要ありや

野田遞相 鳳山丸に就ては自分は知る所少きも抑も〳〵早速君は斯かる消息を何人より聞けるか（こ反問し）

早速氏 知らなければ夫れ迄なり此消息の出所に就ては云ふべき限りに非ず

山縣關東廳長官 自分は就任日尙ほ淺きも努めて監督を怠らず政黨政派のため私せらるゝが如き事なし

杉山政府委員 滿鐵會社なるもの、事業內容は一々說明し難し野村社長を招致して取調べたるに塔連炭坑は其の產炭を滿鐵に使用する必要ありて買入れたるものなり同炭坑の貯炭量一千七百萬噸こ見積り二百二十萬圓にて買入れたる次第なり次に鳳山丸に關する件なるが田中商會の八千五百噸の船こ內田信也氏の千三百噸の船こが同價にて買ひ得るものとせば八千五百噸の船を買入るゝを得策に信じ田中商會こ內田汽船この妥協が出來滿鐵に於ても內田のものを買入れたり他に比較して斷じて高價なる事なし終りに電化會社の件に關しては電化會社相當の價値を認め買入れたるものにして斷じて後暗きもの無し早速君の如き一黨の領袖が斯かる噂を聞き輕々に之を信じ愼重なる考慮を費されざるはどうした事か

こ氣色ばみ且つ當日早速氏が本問題に關し質問する事を豫知し居たるものこ見ね買收契約を調印す此時定例をすぐる事半時間許四十五分再び早速氏午前の質問を繼續し塔連炭坑に關して追及する所あり

早速氏（更に鳳山丸事件に關する杉山政府委員の答辯を駁し）田中商會の方は將來錢の値下又は割引をなす事なり居れりこ云ふにあらずや內田より買入れたる鳳山丸は高價に過ぐ三百二十五圓の噸價に至りては疑はしき點あり又電化會社の如きボロ會社なる事は杉山君の知る所ならん斯かるものを買收するに斯く巨額を投せしは自分の諒解し得ゝる所なり自分は單に風說のみを以て論議するものにあらず

杉山政府委員 塔連炭坑は滿鐵技師をして十分調查せしめたり鳳山丸買收金が高しこ云ふは見る人の私見なり又電化會社はボロ會社こ云はる、も之亦見誤なり其の買入料を二百五十一萬圓こ云はる、も事實相違あり早速君は莫大なる金を某政黨に送りたりこの噂ありこ非難し自分等を疑はるゝの口吻を漏らせるは以ての外なり其の事實を示せ（こ逆襲す）

早速氏 單に風說のみによりて質問せるに非ず杉山君が十分の說明出來ざるは國家の爲遺憾千萬なりこ結び國民黨の

小橋藻三衛氏（港灣修築費分擔に關し）政府に誠意なし（こ責め）

高橋藏相 大正十年度に於ては止むを得ざるも將來に於ては財源の見込あり

小橋氏 農業經濟保護策如何

高橋藏相 所管大臣に質問せられよこ答辯を拒絕し小橋氏この間に製艦費に關して應答あり

小橋氏 我が國の製艦費を英國こ比較して高低の差如何

高橋藏相 高き事もあり平均しては英國より高き事なし

小橋氏 製艦事業を民業に移すの意なしや

加藤海相 軍事上秘密に亘るものを除くの外民業に委ねつゝあり

次に憲政會の高木正年氏こ加藤海相この間に豫備艦問題に關し問答あり此時中橋文相出席す國民黨の

小橋氏（廿八日の大阪每日新聞を朗讀し）『神戶高等商業學校に於てなせる昇格聲明を認むるや』

中橋文相 新聞記事の全部が其の眞相なりこは云はず

小橋氏 然らば夫れ以上は新聞の想像記事こ云ふや

中橋文相 新聞の想像記事こは云はず

小橋氏（突然）夫でよろしい夫でよろしい

中橋文相（あわて乍ら）マア聞いて下さい（こ辯明頗るつこむ）

次いで小橋氏小學校の教育方針に就て質問し文相の答辯あり

小橋氏（更に陸軍に於て）は豫算を無視して支拂をなせる事多きは遺憾なり今後は斯くの如き事なき樣希望す

田中陸相 今後は十分注意すべし

次で高木正年氏登壇兵役年限短縮に就て質問し

田中陸相 我國は精兵主義をこり居れり精兵主義を廢せざる限り兵役を一年半に短縮するは實行上非常の困難ある事を承知せられたし

こ答へ兩者の間に尙ほ二三の論答ありて五時散會せり（東京電話）

「二枚舌」の祟り 文相の彈劾案

國民黨が提出する

國民黨にては中橋文相が昨年昇格問題勃發するや五校の學校當事者並に學生に對し大正十年度より昇格さすべき旨の口約をなしたることは世間周知の事實であるに拘はらず今期議會に於て議員の質問に對し全然右の口吻を否認するが如き答辯を敢てしたるは無責任の甚だしきものでこれが爲遂に『二枚舌』事件を生じ議場を混亂に陷れたるのみならず一時教育界に動搖を生じ多大の影響を與へ文教を監督する文相こして明に失態である故に中橋文相は速かに處決すべしこの議起り右の理由を以て同黨では今期議會に文相不信任の決議を提出すべく本問題は多分一日の代議員會に附議したる上決定する筈である尙犬養總務は過日同黨大會の席上にて**軍備縮小** 產業立國を高唱したるが右軍備縮小案に就ては近く具體的成案を世上に公表すると共に今期議會に決議案か若くは他の形式を以て提出するに至るであらう（東京電報）

尾崎行雄氏の『黨議問題』

幹部の意嚮

尾崎行雄氏の黨議問題に關し三十日關和知氏は院內總務を代表して尾崎氏こ會見の上出席者三分の一以上の同意あるに非されば黨議こして黨員を拘束せざることこすべしこの提議に對して幹部會に於いて協議中なるが反對論少からず且黨の重大案件に就て相當の考慮を要すべき筋あれば遽に決定せず愼重研究して如何この說多數なるを以て本日は軍備制限問題を主題こして協議し黨議問題は後廻しにしたしこ述べ尾崎氏は是を諒こし承認したるが是に關する**多數幹部**の意見を綜合するに何事も出席者の三分の二以上の同意を要するこせば黨の制上は勿論緊急を要する場合は議會の懸け引上より種々面白からず從來の慣例に依り多數決を原則こし成るべく黨員の意志を拘束せざる方針に出づべきも例へば今期議會の重大案たる**常平倉案** 及陪審制度問題の如き有力なる反對意見あるものは是れに對し除外例を許す時は否決を見るが如きここあるべしこの見地より是を許さゞるもの、如し（東京電報）

衆議院豫算總會（一日）

軍事費追加要求質問

一日の豫算總會に於ては國民黨の大口喜六氏より陸海軍の繼續費追加要求に就き質問し更に在外正貨を準備こするは不法なりこ論じ轉じて兵役年限の短縮思想問題等に就て質問し代つて政友會の紫安新九郎氏は財政問題に就き質問せり（東京至急電報）

各派交涉會

衆議院各派交涉會は三十一日午後一時半より交涉室に於て開會後藤議長より中野正剛氏の提案にかゝる朝鮮統治に關する決議案に就て決議案なるものは一名の贊成者を得れば動議こして取扱ひ得るものなり中野氏の提案を檢するに正式に動議こして取扱ひを得るものなり決議案は議員の意志を表示し建議案は對政府關係ある內容を有せざるべからず而して該案は政府の關係を云々しある點を以て建議案こするを至當こ認めらるゝが之を如何に取扱ふべきかを諮りたるが該問題を即今解決するは議案の處分を決するものなれば事重大なるを以て考慮を要すべし依つて議長は提出者に交涉し議會に於て其の處置を決すべしご諮り結局建議案に決するも異議なしこ云ふ事に決して散會せり

王世子御歸京

李王世子殿下には金武官、高事務官を隨へさせられ三十一日午後零時五十分東京驛發列車にて御歸京相成りたり（東京特電）

新築か增築か

府內の學校

京城學校組合會議は三十一日午後府廳會議室に於て開會其の席上齋藤府尹より十年度に於ける學校兒童收容計畫に關する協議の提出あり組合議員は何れも全體的意見を吐露する所あり更に一日午後七時より京城ホテルに於て組合議員の茶話會を開き齋藤府尹等府當局も出席し兒童收容問題に付き討議する由なるが京城府當局こしては年々四百名以上の增加を告ぐる京城の就學兒童を滿足に收容せんには結局小學校新設か增築かの途に出でざるべからずこの意見を議するもの、如し

民事令改正

朝鮮民籍法及民事令改正委員會は一月卅一日午後一時より總督府第一會議室に開始され審議の結果愈々最後の成案を得たるを以て司法省こ打合せの爲め原事務官之を携帶說明の爲東上の筈

繪の中の齋藤總督

鎭江山から國境の風光を賞で、製紙會社へ

安東縣にて 辻本特派員特電

三十一日新義州より新義州に引返せる齋藤總督は直に六臺の自動車を連ね鴨綠江鐵橋を渡りて安東縣に入り入江領事其他の案內にて鎭江山に登り安東市街を下瞰したり氷河の如き鴨綠江を隔てゝ白馬山眉に迫り遠く龍岩浦の沖邊迄も見えて宛ら土佐繪を見るの思ひあり總督は右顧左眄し其の勝景を賞し低徊して去るに忍びさるの風あり斯くて山を下りて領事館に入り日支重なる官民に迎接し午餐を共にし午後三時半新義州に引返し朝鮮製紙會社營林廠其他を參觀したるが總べて溫容に微笑を湛へ元氣頗る旺盛なり

『日支親善』の縮圖

肥つた總督と肥つた支那官憲の交驩

齋藤總督一行が鎭江山を下り安東領事館に到着したのは丁度午後一時（三十一日）であつた邦人側よりは入江領事加藤警察署長山中滿鐵事務所長泉鮮銀支店長等又支那側よりは湯東邊道尹、河東遼道尹、林安東知縣高警察廳長等出席領事の催しに係る歡迎午餐會が開かれた。でつぷり肥つた總督の偉大な體軀こ支那官憲の丸々肥つた面々がづらりこ著席した樣は恰も羅漢會を見るが如き觀を呈し戶外は萬寶山嵐が時折寒い音を立て、ゐるが茲ばかりは春風春水就に來たかのやうに和氣靄々たるものがあつた。總督は兩頰に靨の渦を卷ながら日支親善を說くこ湯鎭守使も又赤銅色のやうに痛々しい笑を滿面に漂はせて誠意を披瀝し極めて打融けた態度で日支提携の必要なるを說きお互ひに兩國の爲め努力しませうこ隔意無き意見が交換された。湯鎭守使は『安東を距る上流約十五里の寬甸縣に不逞鮮人が約百名蜂起した報告があつたから三十日直ちに縣知事に對し鎭壓を命令しました』こ得意さうに語り『張作霖督辦が是非共齋藤總督閣下の一度奉天に御來遊あらん事を切望して居られます』こ述べ是に對し總督は『其の內に吃度機會をこさへて一度張督軍閣下を訪問しませう』こ云つて熱い堅い手を交へた此の會合は日支兩國の上に溫かな親善の連鎖が堅く結ばれたものと思はれる支那官憲の人々は總督の打解けた平民的態度を口々に賞へてゐた。

新義州から平壤へ

鑛業所平南道廳視察

齋藤總督一行は一日午前七時三十分新義州發盛なる見送りを受け平壤に向ひたるが鐵道沿線は極めて靜穩なり總督は元氣頗る旺盛にして時々停車驛に下りプラットフォームに散步せり午後零時三十分平壤着篠田平南知事其他當地重なる官民多數の出迎ひあり一行は直に寺洞に向ひ平壤鑛業所を巡覽し三時半平壤に引返し平南道廳を視察の後在平壤外國宣教師等に接見し五時柳屋旅館に投宿の豫定なり（平壤特電）

鮮鐵荷動槪況

十二月分（二）

前月下半季荷動き好況を呈して主要貨物出荷狀況を槪觀せば

米 本品は內地向不況回復による移出激增に伴ひ倍々好調を持續し前年同期に比し八千九百九十七噸二割二分を增加せるの盛況を見たり然れども財界の變調こ船舶過剩による海運界の活躍は附近各海港より海路を利用するもの多きを加へ鐵道に依る內地移出は僅に千六百八十三噸を算するに過ぎずして前年同期に比し僅に二割二分を減少せり其の發驛の主なるものは平澤六千七百二十九噸大邱四千二百噸水原二千六百二十噸金泉二千五百五十二噸裡里千八百十噸慶山千六百四噸鳥致院千五百八十噸密陽千三百五十二噸新泰仁千三百五十八噸天安千二百五十噸等にして釜山（草梁驛を含む）著二萬三千七百十三噸全數量の四割餘を占む其他群山八千七十九噸仁川六千三百五十噸木浦二千四百五十一噸南大門百七十三噸等の主なるものとす

石炭 事業界の衰退こ例年に見るの暖氣は本品の需要比較的喚起されず殊に貯炭の過剩は先安を見越せる等により商談捗々しく行はれずして荷動き稍々鈍狀を呈せるの感なき能はず然し美林撫順南浦等無煙炭は依然順調にして一萬三千餘噸を算し仁川、鎭南浦等に於ける內地及開平炭の入津又相當數量に達し結局前年同期に比し大差を見ざりき其發驛の主なるものは前揭美林撫順南浦著無煙炭其首位を占め安東鎭山撫順炭一萬百八十五噸寺洞炭五千八百四十一噸新安州二千百五十一噸沙里院五千十六噸仁川四千七百二十一噸鎭南浦千七百十三噸等にして鎭南浦、龍山、平壤、兼二浦著其大半を占む

府豫算提出期

京城府に於ける大正十年度豫算は過般來銳意其編成に努力せる爲め最早大體の完成を告げ茲數日中には道知事の手許に提出の運びこなりたり

移民共濟協議

東拓京城支店にては一日階上會議室に管內移民の代表者十餘名を召集し共濟組合の組織に就て協議したり

滿鐵炭價値下げ

一噸平均二圓三十錢 二月一日から實施

滿鐵會社にては最近經濟界の狀勢銀貨の暴落內外各地の炭況に鑑み二月一日より滿鮮各地共一噸平均二圓三十錢の値下を實施することに決定せり大連に於ける貯炭場小賣渡し値段撫順切込炭十七圓十五錢 塊炭二十圓六十五錢 粉炭十五圓十五錢 二號切込炭十圓十五錢こ定めたり右に就き竹部販賣課長は語る『石炭の値下は昨夏以來の懸案こして再三再四議を凝らしたもので一般が想望して居る樣に安く値下する譯にも行かず今度の二圓卅錢の値下でも一年間約三百五十萬圓の收入減少を來すので其不足を何れにて補ふべきかこ云ふ大問題の解決に腐心して居るこ』（大連特電）

値下理由

塊炭は据置

別項の如く滿鐵にては撫順炭に對し二月一日より滿鮮を通じて切込炭は一圓五十錢粉炭は二圓五十錢の値下をなせるが塊炭のみは其他の雜炭は二圓乃至二圓五十錢從前通りにて値下をなさず其の結果切込炭及粉炭こ塊炭この値開きが多くなるに至れり値下の理由こしては切込炭及粉炭は塊炭に對しては安値なるに拘らず從前需要多からずして一方需要が塊炭に集中されたるを以て一般需要を切込炭及粉炭にも喚起せしめ此種の在荷を緩滅せんこの販賣政策を含み居る如し

學校組合會議

原案可決

京城學校組合に於ては三十一日午後三時より府會議室に於て大正十年初會議を開催したるが議員十五名缺席十三人出席府尹兩課長關係主任列席九年度追加豫算の件及び秘密會に於て學校組合の件を協議し何れも原案可決終つて府尹より十年度兒童收容に關する協議ありて午後四時四十分閉會せり

臨時團隊長會議

來る十日

第二十師團管下團隊長會議は每年四五月の候を以て開催せらるゝも第二十師團司令部にては來る二月十日各團隊長を臨時に召集し守備教育其他に就き西田參謀長より指示する處あるべしこ云ふも思ふに國防充實の大要定まりたるを以て本會議は右に關する打合會なるべしこ觀測さる召集の團隊長は左記の外師團各部長も列席すべしこ

步兵第三十九旅團長岩崎少將▲步兵第四十旅團長奧田少將▲步兵第七十七聯隊長谷村大佐▲步兵第七十八聯隊長福田大佐▲步兵第七十九聯隊長志賀大佐▲步兵第八十聯隊長小室大佐▲騎兵第二十八聯隊長野大佐▲野砲兵第二十六聯隊長原田中佐▲馬山重砲兵大隊長永川中佐▲工兵第二十大隊長木多大佐

辭令

（一月三十一日附）

總督府道書記 金敎哲

任總督府郡守（八等）京畿道加平郡在勤を命す

總督府技師 奧田 暾

總督府檢事 横崎磯右衛門

依願免本官

總督府司法官試補 坂 喜登

京城地方法院曲岡檢查局に於て事務を修習すべし

敍勳

左の通り總督府職員に對し敍勳の御沙汰ありたり

敍勳四等授瑞寶章 總督府醫院長 志賀 潔

總督府忠南道知事 時實 秋穗

敍勳五等授瑞寶章 總督府事務官 齋藤 禮三

柴山總監部一課長

十七日夜來城

敎育總監部第一課長柴山重一大佐は滿洲狀況視察の歸途來る十七日午後七時平壤より來城軍司令部其他を歷訪視察し廿一日朝九時四十八分龍山驛著列車にて咸興に趣き同地より廿三日夜六時半龍山に引返し廿五日午前九時四十七分龍山發特急にて歸東すべしこ

東少將講演

來城中の東正彥少將は二日午後一時より龍山偕行社に於て衛戍地將校の爲め間島事件に就き詳述する處あるべし

東亞日報休刊

諺文新聞東亞日報は嚮に發行停止處分の解除を受け二月一日より發行の豫定なりしも遂に發行する能はず更に二月一日より十日間休刊の屆出を其筋に爲したり

○雜誌『儒道』認可 全鮮の儒林が儒道振興の目的にて發刊を企圖したる雜誌『儒道』は昨年中より京城府昭格洞一五二尹韶求より願ひ出中の所此程認可せられたり

日比谷の政戰を見ながら（六）

在京一記者

▲廿八日の貴族院本會議は極めて平凡であつた。早や質問も下り坂である。唯坂本釤之助氏が教育問題で近頃痛快至極な質問を試みて議場を笑はせた位な者。▲坂本氏はお茶の水女子高等師範學校に於ける出來事は『矢張り文部省施政の反影こ見て差支ないか』こ眞綿で針を包んだやうな質問を發したが中橋文相が理を極め込んで問題の內容に觸れなかつたので、トウ〱業を煮やしたものか態度を改めて『玉座の前で恐懼に堪へないが』こ開き直りお茶の水高師の『同窓會事件』を赤裸々に暴露し教鞭を執る身でありながら赤前垂れでおでん屋、汁粉屋りに扮したり、モノもあらうに曾根崎心中『梅川忠兵衛』の活人畫を演じたことなど揶揄し立てたのは場所柄だけに異樣の感に打たれた。流石の中橋文相も之には閉口して遂に誠意ある答辯があつて落ちとなつた。▲此日傍聽席は女學生らしき若い婦人で滿員の體であつたが坂本氏の所謂『教育ある婦女子が赤前垂や梅川心中で醜若女郎の眞似をするなどは言語道斷……』で何れも赭くなつて下を向く。▲期待した江木千之老の質問は今日老體差支へあつて三十一日に延びた爲に午後の閉議は呆氣なかつた。▲貴族院の名物男矢口長右衛門氏の外交的質問があつたが何等の感興を引かなかつた樣だ。議席も大半はガラ空き加藤高明子は不思議にも矢口氏の質問の終る迄議席にあつた

人事消息

▲和田一郎氏（總督府鐵道部長）全羅南北道管に內出張を命ぜられ三十日出發

▲高木善人氏（全州高等普通學校長）東京京都大阪廣島福岡熊本の各地に出張を命ぜられ二十六日出發

▲清水孝太郎氏（光州監獄典獄）二十八日附出府を命ぜらる

▲中山勝之助氏（大邱覆審法院長）三十一日附出府を命ぜらる

▲松寺竹雄氏（大邱覆審法院檢事長）三十一日附出府を命ぜらる

▲森田寬蔵氏（鐵道部事務官）三十一日附出府を命ぜらる

▲山澤和三郎氏（總督府鐵道部事務官）三十一日附出張中の所三十一日歸任

▲侯孫一氏（前北海道長官）一日仁川を視察し二日愛花學堂高等普通學校を參觀すべし

▲川島天津銀行常務取締 一日入城朝鮮ホテルへ

▲韓昌洙男（李王職掌侍司長）王世子殿下御見送の爲め出張中の處昨一日夜歸城

▲神村正誠氏（軍高級參謀大佐）間島方面視察中の處山田軍醫監一行と共に三日夜七時歸城の豫定

▲柿村秀一氏（關東軍司令部附一等軍醫）龍山部隊見學の爲來城中の處三十一日夜發歸任

▲齋藤恒氏（吉林督軍顧問大佐）二日發歸任の豫定なりしも延期

▲櫻井小一氏（京畿道事務官）三週間の豫定にて三十日東上

▲福井武次郎氏（鎭南浦）一日朝平壤へ

寸碧

▲國境視察中の齋藤總督は一日の中に新義州から義州へ義州から更に安東縣へこ云つた風に朝鮮こ支那こを一跨ぎに視察して居る。▲道知事から管內狀況を聽取する、戰跡を見る、官民に接見する、そして僅な暇を窃んでは營林廠や製紙會社まで見るこ云ふ有樣。▲電光石火こ云ふか或は息吐く暇もないこ云ふか兎に角其視察振りには隨行員も地方の官民も定めし面食つたことであらう▲而も總督の行動は頗る開放的で時こ處を選ばず又誰彼の差別なく民衆に直接して親しく民意を聽取した爲め地方民に非常なる好印象を與へたことである▲總督の開放的なのは今に始まつた事ではないが兎に角それが鮮人に好印象を與へたのは『ソレが『朝鮮の統治』を眞に理解する……少くこも理解に近づく導火線こもなれば總督こして此上の滿足はあるまい。

英の總選擧

倫敦二十九日發電

ロイド、ジョーヂ氏の壯……

中米共和國

華盛頓三十日發電

四共和國併合の計畫……

コ國殿下御着の日

カルカツタ三十日發電

商店の閉鎖を宣言……

愛蘭問題

……すべしこ言へるが駐米大使ゲデス氏の……

聯合國決議

巴里二十九日發電……

天氣豫報

曇天にして東岸は偏北……溫は昨朝に比し一般に稍下降せり明日の氣壓配置も前日こ大差なかるべく……

正八年度[illegible]額を聞くに左の如し

[illegible]

教育費＝六十餘萬圓

大連七校の次年度豫算

人口增加によつて大連の著しい發展は兒童の上にも明かに認められ小學校も二年目毎に一校增設しなければならん狀態で既に第六小學校設置の計畫もあるが明年度からは伏見臺高等小學に補習科をも增設し新學期から高等小學校になるのである右の補習科附設の校舍は有るが教室用備品費、傭人費、消耗品費其他の經費を市役所に要求せる總額は二千八百九十三圓である尚他の小學校及び公學堂の七校より來年度經費即ち教室備品費、傭人費、宿直食料、消耗品費等の要求額は十六萬五千五十七圓四十三錢で目下市役所に於て調査中であると。

人口增加は約十萬人 大連市一年間に於る

即ち大正九年度末現在に於ける管內戶口數は戶數六萬二千五百三十四戶人口三十八萬四千八百三十八名大正八年度末戶數に比較し一萬千二十九戶人口九萬五千五百五十九名の激增であるが其の內容は市內內地人戶數一萬一千四百六十四戶人口五萬七百七十八名にして朝鮮人戶數三十四戶人口二百四十名又支那戶數一萬一千七百八十八戶人口九萬四千八百三十二名次に外國人が戶數三十四戶人口百十八名計戶數二萬三千二百零五戶人口十四萬五千九百六十八名であつて市外の日本人は戶數一萬四千六百六十三戶人口六萬二千七百七名朝鮮人は戶數四十三戶人口二百八十七名而して支那人が二萬四千二百八十二戶人口十七萬五千七百八十七名で外國人が戶數四十一戶人口百五十二名計戶數三萬九千三百二十九戶人口二十三萬八千八百六十七名である右一年間の增加が戶數一萬一千餘人口九萬五千餘と云ふ大多數に徵しても大連の發展が如何に急激であるかを窺知し得るである。(大連)

立法の精神に鑑みよ

製材課稅運動に就て 大津峻氏談

新義州木材商組合は滿洲より朝鮮に輸入する製材に對し外國より內地に輸入する關稅定率法により課稅すべしとの運動を開始したる事は木紙の逸早く報道したる處なるが是に對し新義州木材商組合長多田榮吉氏の說明する內容に關し探木公司總事大津峻氏は左の如く語れり

(安東縣)目下外國より內地に輸入する木材六十五ミリメートル以外の製材即ち材が二寸一分以內の製材一立方米突約我三尺締に對し三圓十錢の關稅を課する事は去る明治四十三年の關稅改正以來襲用し來つたものであるが昨年八月二十九日の關稅改正後朝鮮に輸入する關稅は昨年臨時議會の協贊を得て可決確定の上大正九年八月六日法律第五十三號を以て發布されたものであるが其の法律には帝國議會の協贊を經たる關稅定率法、關稅倉庫法及び保稅工場法等の朝鮮に於ける特令に關する法律を裁可し茲に之を公布せしむとある當時議會に於ける提案の理由は政府委員として神野勝之助氏が說明し居り委員會の報告は指田委員長が試みて居り朝鮮は內地と出入の事情も異にして居る爲めに鐵道用品金銀銅鑛石炭の採掘に使用する器具機械爆藥、それに農產物種子木材類に限り特に必要と認めて除外例を設くるのであると認め現內閣が之を提案し議會も亦之を相當と認めて協贊を與へて可決確定此の第五十三號の法律となつて現はれたのである此の立派な立法の精神を無視して昨年改正になつた許りの法律を改正せよと絕叫するのは甚だ無理な注文と謂はねばならぬ

關稅定率

法第六百十二號によれば木材は凡て品種を擧げて列記法となつて居るけれども多數の品目を一々列擧する事は非常に困難とするのでパイン松ファー(唐檜の類)シーダー(ヒマラヤ松)の如きは明記されて居る長さ二十七センチメートル厚さ七ミリメートルを越ゆるシーダーは無稅と有その二には厚さ六十五ミリメートルを越ねざるものは三圓十錢の課稅となつて居り現に外國より輸入するものに對しては此課稅をやつて居るのであり又其の他者の一割五分の課稅になつて居る特に立法者は朝鮮現狀に鑑みて法律を以て公布した此の除外例を撤廢して折角改善された法律を改惡しようとする事は甚だ謂れない事になり當局と雖も其の無暴の運動に耳を藉す事はなからうと思ふ立法者の精神は昨年の七月十六日の官報第二百十九頁に掲載してある政府委員神野勝之助氏の說明から諦んで見ると何故に朝鮮の關稅にのみ除外令を設けて木材や種子類器具機械爆藥等を無稅にしたと云ふ理由は火を見るより明瞭になるであら

再び起たんとす 睦鐘會

斯くて智育の宣傳

(仁川)脫兎の如き勢ひで往年生れでた仁川睦鐘會は發起人の移動や諸種の事情に依つて暫く鳴を靜め今では忘れられたかの樣になつて居るが最近

其の復活を

痛感する者多く同士集まつて睦鐘會の再起を企謀中である主義綱目は以前と異る處なく人心の趨向は動もすれば形而下に偏傾して物質の澌竭を忘れられんとし今や危險なる墮落の淵に陷らんとして居る殊に仁川に其の甚だしきを觀るので茲に睦の鐘を鳴らして

惰眠を醒し

人心に一服の淸心劑を與へんとする大なる意義の下に復活せられたのである將來の事業計畫として或ひは雜誌『睦鐘』を發行して思想宣傳に努むる筈であるが差當り名士を聘して講演會を開き大ひに思想の啓發に並すと共に一方仁川に於ける諸問題を捉へて研究論議を爲し時に之が指針を示さうと云ふ

意氣込みで

ある過渡期に在る仁川は今や漸く體育の一機關が備はり青年の體育の上に一機軸を作らうとして居るが之と離るべからざる關係に在る智育の啓發は此睦鐘會に依つて爲されんとして居るのであるで將來體育協會の活躍と相俟つて此の睦鐘會が眞の活動を起す時仁川の

誘導機關に

充實した光彩を放つだらうと識者は多くを期待して居る

間島に煙草栽培

(淸津)淸津鈴木商店出張所が昨年間島龍井村に試作したる葉煙草は降雪の爲幾分成熟を損じたるが今年今一回試作の上良好なれば大々的に三四百萬圓を投じて栽培事業に着手するものなりと

製函會社增資

(安東縣)去る二十八日第三期定時株式總會を開きたる新義州製函株式會社は資本金五十萬圓四分の一の拂込みなるが定時總會後臨時總會を開き安東縣にある滿鮮木材株式會社資本金五十萬圓を合併し本社を新義州に置き安東縣に支店を置く事を可決し右兩會社は何れも四分の一拂込みなるを以て資本金一百萬圓拂込み二十五萬圓となる譯にして財界の安定を俟ち南北滿洲に活躍すべく目下其の準備中なりと

釜山の稅源を何うする乎

釜山府寺島事務官談

當局と打合せの爲め京城出張中なりし釜山府寺島事務官は歸任叢續談に曰く

『水道補助金は其金額の半分約六萬圓は近く支出さるゝ運びとなつたがコレラの祟りの

傳染豫防費

は未だ各府から申請書が出揃はぬので配分率の確定は當分むづかしからうと思はれるそれに請求通りの七萬圓が手には入るかどうかは頗る疑問だ次ぎに發額をいためている釜山府藏所の切り廻しに就て本家の方でも調査研究がつんでいて打合がよかつた、本府も新稅源の窩樹として所得稅附加稅及び

船稅附加稅

を賦課する手筈になつている樣であるが單に之丈けでは補ひがつきそうもないので何れ府尹と相談の上勘考をしよう勿論『稅』と云ふ奴は誰も其のものが既に嫌ひか惡いと兎角問題になり勝ちだから與論を慎重熟慮を重ねる必要があるが又一方御互の問題だから府民擧つて研究がして見たいものであるそれにまだかけることもかけぬとも云はない內から遊興稅問題で遊廓方面に盛に反對の火の手があがつているそうだが單に內地の府縣の二三にはこんな稅目があると云つた迄の話で僕も之には大不賛成の一人で頭が年の割合に禿チョビけそんな

不粹な男で

はないつもりだよ、だからそんなに躍氣となつて騷ぐ必要もあるまい』呵々(釜山)

京南鐵道拂込

好成績で終了

(天安)京南鐵道株式會社第二回拂込株金は財界不況明に拘らず去る十二月十三日締切迄に十九萬五千三百三十株の拂込みあり失權したるは僅に一萬四千餘株に過ぎざるの好成績を得たるは意想外なりき

淸津貿易額

(淸津)昨年十二月中に於ける淸津貿易額は輸移出二十四萬五千六百零三圓(大豆、栗豆、乾鰮肥料)、輸移入額は五十七萬五千二百四十五圓(麥粉、麥酒、生金巾、杭條、燐寸)

淸津官民の會見

紛擾の永引くを憂ひて 近く圓滿なる解決を見ん

(淸津)道議問題で紛擾を重ねて居る淸津の形勢は今や絕頂であるが、今まで放任主義を取つて居た道廳でも餘り飛火が酷いので心配をはじめ井上第一、富永第三兩部長、甘粕事務官を淸津に出張せしめて官民有力者と會見せしむる事となつた、三氏は二十五日から三日に亘つて熱心に斡旋して居る、一方府內の中立派有力家連も銀行家を始めとして何れも紛擾の長びくを憂ひ、此の際相方の仲に立つて圓滿なる解決に努力する事となりこれも二十七日來活動を始めた、一方問題の中心たる道議中村太郎左衞門氏は、料理屋主人が何で府の體面を損するかとて頑然其の椅子を固持するばかりか頻りに對抗手段を講じて居るので此の兆が果して平和につくか如何か、未だ〳〵前途暗澹であるが但し紛擾はモウ絕頂だから今後次第に何等か解決の途を辿るものたるは疑ひ無い

群山座の運命

持主變更か

(群山)同地に於ける唯一の娛樂場たる群山座は株式組織にして從來殆ど缺損續きにて株主に對する配當は絕無の狀況なりしが群山に於ける唯一の娛樂機關として株主の多數は土地の有力者にして解散に忍びず爾來存續し來りしが大株主の一人石田某は最近に至り自家の利益より解散の目的を以て絕對多數株の買占めを爲し遂に解散の決議を斷行したるが最近群山有志者等は群山唯一の娛樂機關を失ふに忍びずとし赤松繁大、高洲規一、中山虎丸其他數氏を委員として大株主たる石田某に交涉し競賣過分に附する事無く從來の劇場を借者たりし島田某に讓り渡す事に至るべく目下交涉は順潮に進捗しつゝあり

木浦の工場

木浦府の調査による昨年末現在の府內工場は精米所七籾摺工場七造船所二綿工場二鐵工所三印刷所四發電所一製油工場一醸造場七にして原動力は蒸氣機關七臺七百卅七馬力吸入瓦斯發動機三臺百卅五馬力電力五臺十八馬力等とし其他は人力によるものなるが本統計に擧げたるは從業者五人以上又は年額五千圓以上の生產額ある工場のみなり(木浦)

日本海橫斷航路新船

立神丸に平壤丸を加ふ

(淸津)當地方出貨活況を呈し居り朝郵の日本海橫斷航路立神丸(二千五百噸)は每回滿腹荷は積み切れぬため、會社にては從來の雄基淸間に就航せし居たる平壤丸(千五百噸)を臨時に補充就航せしむる事となつた、同船は淸津より敦賀に直航し其の時間約二晝夜なるを以て旅客の往來通信上至便なりとし當地方は永く其の就航を希望して居る

朝鮮唯一の海員養成所

本科五十名募集

(仁川)同地驛前遞信局海員養成所では來る三月から本科生五十名を入學せしむべく志望者を募集して居る同養成所は朝鮮唯一のもので內地に於ける官立

商船學校と

稍同等の資格を有するのであるから海上生活に憧憬る者に取つては是非此處に學ばねばならぬのである本科生は六ヶ年で內三年を學校で勉强し後三年は工場又は汽船で實地練習をする此の練習期間は相當の給料が貰へるから實際は三年の學資で足りる譯である入學後の成績優等のものは

本人の希望

で朝鮮郵船の貸費生たる事も出來るが此場合には卒業後相當年限の就職義務は同會社におふ譯である實地練習も終れば航海科は甲種二等運轉士機關科は一等機關士の免狀を取る事が出來、運轉士又は機關士として海上に活動し將來は遠洋航路の大型船長又は機關長となつて帝國海運の爲めに盡す事が出來る特に

徵兵猶豫

の特典に就ては目下手續中であるが海軍豫備員條令に依る認定は出來得る筈であると入學資格は十四年以上の男子學力は高等小學卒業又は高等普通學校二年以上修業若くは之と同等以上の學力あるものは無試驗入學を許す但し募集人員に超過する時は勿論試驗を行ふのである手續は

二月末日迄

試驗は三月廿三兩日詳細は海員養成所に問合はすれば宜しい

青年の轢死

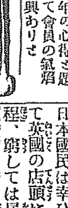
去る廿八日朝木浦驛附近の鐵道線路にて內地人青年の轢死體を發見大騷ぎとなりたるが右は當地南北路電工場杉本某の倅時三郎(二〇)にして數日前他の女と同棲し居れる實父を尋ね木浦に來りたるものなるが原因は家庭に込み入る事情あるらしく前夜六時二十分發松汀里行の列車にて轢死したるものなりと(木浦)

營口より

○營口興業と油房 營口興業會社は最初より煉瓦製造業の外にも適當なる工業を起す事を以て使命とせしが油房營業に付調査の結果工場建築機械器具等約十五萬圓を要する事とて目下の狀況には株主に對し第二回の拂込を爲ゆる能はざるも他より借入法方の默契もあれば之を斷行する事に決し先頃重役一任と株主の贊成を得たれば愈準備に着手せり○大內隆從武官は副官一名隨行二名を隨へ大石橋より山口守備隊長從ひ廿九日午後一時五十分着列車にて來營守備隊及憲兵隊を巡視し[illegible]淸林館に投宿の豫定○佛教青年會 新年會を開かれ[illegible]に本日盛大に舉行せらる[illegible]營口支局長の青年の心得と題する講演あり了りて會員の餘興會を開き福引の餘興ありと

日記帳から

京都にて 吐雲山人



廿六日流感流行の記事が諸新聞紙上に見へて來た、二木博士の流感豫防の談話の中に飽食暖衣するものは兎角流感に罹り易い成る可く少食してをれば身體が强壯になり流感などに罹らなくなる、博士の如きは日に二食であつて一日四杯の飯か食ない、副食物は野菜を主とし極めて少量の肉を配するに過ぎないとある少食が流感豫防は勿論最良の健康法だとすれば、天下是より經濟的にして且つ容易なる健康法はないわけだ、

私は博士の說にかぶれたわけではないが日本人は概して食ひ過ぎるかと思ふ、日本人は暴飮暴食して金錢と生命とを徒費してゐるやうに思はれてならぬ、食卓の上が豐になれば財嚢が貧しくなることは能く言ふ事であるが皿の中が肥ゆれば身體が痩るやうである、兎に角日本人は浪費國民である、日本人が一ヶ年に宴會の席で盃洗の中にあける酒の高はどの位に上るであらうか盃洗の中へ捨る酒の代價で或は軍艦一艘出來るかも知れない高等學校の二つや三つが建てられるかも知れない、一方で米問題で困つて居りながら、他方で米から製造した酒の多量を盃洗の中へ捨て、顧みない、單に浪費國民であるばかりじやない、矛盾國民である、これは日本國民が未だ眞劍になつて居ないからである、生活難を訴へてゐながら、未だ何處やらに餘裕があるからである、昨年の初冬、ロイドヂョージ君は英國實業家の團體に向つて

歐洲諸國は身に襤褸を著けて英國の店頭に立つてゐる、買ひたい品物はあるが買ふ事が出來ない、彼等は大に働いて再び其財嚢を滿たさなければならぬ、彼等の財嚢の滿つる迄英國は如何ともする事が出來ぬ

と云ふ意味の演說をした、而して彼は公私孰の方面に於ても節儉の必要を力說したのである、日本國民は幸ひにも襤褸を著けて英國の店頭に立たねばならぬ程、窮しては居らぬ、しかし寸善尺魔の世の中である、何時如何なる事が突發して財嚢の底を叩かねばならぬかも知れない、節儉なるかな節儉なるかな、飽食暖衣は健康の敵である、日本國民は須らく國旗飯を腰にして五大洲を跋涉し、日本の國旗を輝かす底の意氣あるを要す

湯淺凡平とか云ふ人が朝鮮問題に關して議會で質問をして居る總督其他當局者は何れも鮮民は泰平無事で民皆鼓腹擊攘して居るが如く宣傳されて居るが云々

ご御名前の如く頗る凡平なる質問であるアフリカ內地へでも深入りしたら知らぬ事、二十世紀の今日民皆鼓腹なる國家は御座らぬ大概に於て安寧無事なれば先づ國家は泰平無事也と申さねばならぬ、堯舜の世でも姦通事件はあつたで御座らう、家に鼠國に盜賊、歐洲の一つや二つは今尙戰火盛に燃へて居り。自由の米國にして尙且大仕掛けの爆發騷擾事件が少し位暴ばれたとて人の鼠賊の大騷亂でも御座るまい、今後苟くも代議士たる者は其必須研究科目として勉强して置いて貰ひたい、

製函會社總會 新義州

製函株式會社第三期定時株主總會を二十八日午後三時より新義州公會堂に於て開會當期の純益金は二萬五千八百六十六圓十九錢前期の繰越金四百九十一圓七十六錢を合はせて二萬六千三百五十七圓九十五錢之を左の通り處分する事に決定せり(新義州)

△金一千四百圓法定積立金△金四千圓別途積立金△金四千圓固定財產消却準備金△金三千六百圓役員賞與金△金三百四十圓使用人保護基金△金九千三百七十五圓株主配當金年一割五分△金三千六百八十二圓九十五錢後期繰越金

商業會成る 兼二浦

兼二浦商工業者は商業會議所に代用すべき機關として題名の如き會を組織し專ら商工業に關する調査並に同地商工業の發展を促進せしむべしと目下兼二浦居住民は一萬六千餘にして商工業者二百以上なりと(兼二浦)

高普敷地決定 晉州近

郡の有力者發起の私立高等普通學校は豫定の如く寄附總額四十萬圓に達せし故和郎立委員長は委員と協議の上飛鳳洞に五千餘坪を買收し近々工事に着手する事に決定せり(晉州)

『午砲！』……が中央氣象臺から

釜山へ受信される

二月末日竣成する測候所の無線電信受信裝置

(釜山)既報の通り豫て釜山測候所に無線電信の受信裝置一方の機械が据付けられる事にきまつたと云ふ噂は隨分久しい以前の話であつたが愈內地當局との交涉が進捗して實現される事となり數日前からボツ〳〵部分的に該機械が發送せられ一兩日中には全部の到着を見る筈である揃つたら仁川の測候所に通報し諸事打合せの上遲くとも二月末頃までには取付けを了する豫定で愈竣成すれば直に中央氣象臺よりの正午のタイムの受信を開始する筈で所謂ドンの取次の外は一切他の受信に使用せぬと云ふ事である

地方集會

▲晉電總會 第六回總會を東京亭にて開催せるが當期は水害に依り休業日數百九日に亘りし結果當期缺損は四千八拾六圓九拾壹錢の多額に達せる由(晉州)

▲軍事講演 長野第八十聯隊長は晉州守備隊視閱の爲め二十八日來晉二十九日公立小學校にて一場の軍事講演をなしたり(晉州)

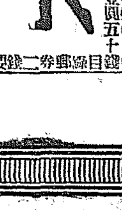
地方人事

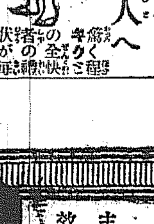
▲地方係交代 滿鐵安東地方事務所地方係前川尊吉氏は今般本社地方庶務課に榮轉し其の後任には公主嶺より北金鎭三郎氏二十八日著任せり(安東縣)

營口より

○營口 取引所取引人組合は廿六日事務所に於て豆粕混合保管に就て協議せり[illegible]

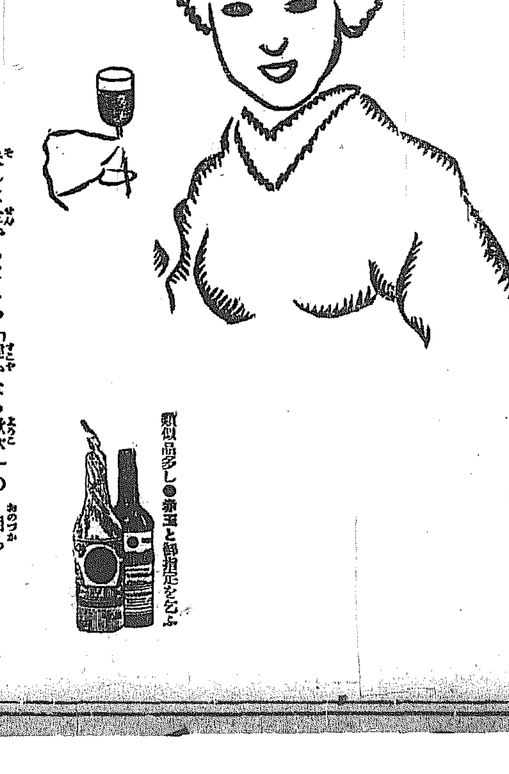
○營口[illegible]に運託して貨出荷にて大連取へ送荷する場合は奥地拂[illegible]


◆熱狂的大好評 ▲賣れる賣れる新刊多數出來
オペラ 歌劇レターペーパ
美しい繪の表紙獨創的內容總て若い人達の守く氣持の好いもの
▲見本取揃送料共金壹圓五十錢 目錄郵券二錢要
◆繪入封筒 各種
▲見本取揃送料共金壹圓五十錢
特約販賣希望者は即時御申込
大阪市南區周防町御堂筋南 畵文社 振替大阪二一五六八番


ね小便と小便近き人へ
[illegible]
日毎日來る新發見の療法あり人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す
東京市京橋築地町 電話京橋三九七六 救世院

京城本町一(郵便局横) 中村眼鏡店 電話二一七番 振京三四六番

迷ふ勿れタンセキ患者!!
老人のタンセキ
呼吸器散は一時押への藥にあらず、祛痰鎭咳に特効ある高貴藥のみを配伍せる、現代理想的の良藥である。
タンセキ改良藥
呼吸器散
主效 肺病のたんせき、喘息のたんせき、かぜのたんせき、大人のたんせき、
小兒の百日ぜきに服用して胸先苦しきを和げ夜間安眠の效を奏す。
丸藥に呼吸器丸あり
(かゝる時用ひよ)
◎息苦しく胸痛む時
◎夜出夜眠られぬ時
◎たんに血の混る時
◎鼻汁れ出でさる時
◎のんど腫れ痛む時
◎たん喉切れ難き時
藥價 二十錢、四十錢、七十錢、一圓五十錢
大阪東京 本舖 丹平商會

赤玉ポートワイン
眞の美！
夫れは詮ずるところ「健かなる歡び」の自らなる表現でございます で御婦人方が朝と夕と愼しやかながら召しあがる赤玉葡萄酒の一杯はまアいかに豐かな其の資料でございませうか！

類似品多し●赤玉と御指定を乞ふ
142

馬賊の憲法十六ケ條（馬賊物語參照）

高輪御殿に就て
李王、妃兩殿下へ賜はる
まだ李王職では詳細の通知に接しませんと 今村庶務課長語る

李王同妃殿下には高輪なる朝香宮邸を賜はる旨過般御發表あらせられたるが右に關し李王職の今村庶務課長は語る『兩殿下の爲に東京に於ける邸宅を給ふ話は擧て畏き邊の御思召しで朝香宮邸下賜になる筈になつてゐたものをそれが愈今度御發表を見た次第でせう。朝香宮邸は御新築御移轉を見た上の事なので未だ一年も先の事でせうが朝香宮様の高輪御殿は仲々宏壯なものです兎も角未だ李王職では詳細な報知を受けてゐません』

目睫の間に迫る
徴兵身體檢査願出期
現役志願と一年志願兵 及び身體檢査願の注意
第二十師團司令部 宮崎少佐談

第二十師團に於ける徴兵檢査出願期日も今や目睫の間に迫り餘す處僅に十日しかないまだ提出せないものは

此の期日に 遅れざる樣一日も早く差出すが宜しい又此期日は檢査施行部隊へ願書の到着すべき最後の期日であるから遅れると受付けられない事になる。さうなると多額の經費と貴重な日數を費して餘儀なく本籍地に歸つて受檢せねばならぬ又鮮地在留者中徴兵適齡者にして受檢希望者は右期日に遅れざる樣注意するが肝要である

願書の提出 に就ては從來次の如き缺點があるから注意せねばならぬ

一、願書は二通差出すことになつて居るのに一通提出する者が尠くない

二、他人の家に同居しあるものや僑人等で何某方と明記せざるため許可の指令や出頭命令を發送するも返戻せられ交付上非常に繁雜な手數を要するものがある

三、氏名の下に捺印の無い爲返送し更に提出せしめたものがある

四、生年月日の數字は壹、貳、參、拾等の文字を用ひねばならぬのに一二三等の略字を用ひたものが多い

五、戸籍を飛用罫紙に罫か引いて寫し市町村長の證明も何もないのを送付したものや戸籍抄本が添付しないもの又は後送すると云ふて一向送らぬものもある

六、書式は公示に示す樣式と著るしく相違したもの

七、宛名の聯隊號を誤つて他隊へ願出たもの

八、願書は檢査施行部隊へ直送することになつて居るのに在留地の府郡廳へ提出したもの

以上は取扱者 に非常な繁雜と手數を掛るのであるから受驗者は孰も各官、公署や其の他の掲示板へ掲げてある第二十師團長の大正十年度徴兵身體檢査に關する公示を熟讀し提出せなければいけない云ひ換へれば願書は二通て樣式の通り認め差出すのが一番宜しいのであるが本籍地、居住地、氏名、年月、日等を書き落さぬ樣に特に注意せねばならぬ又願出後檢査開始期迄に轉籍したものや居住地を變更したものは直ちに其の旨を屆出た軍隊へ屆出でなければならぬ、願書の取消をなさんとするものも同樣である

現役志願者や 一年志願兵（適齡未滿の者）身體檢査願出期日は志願に依ることであるから身體檢査開始期日前即ち三月末日迄に檢査を受んとする軍隊に願出を徴兵身體檢査と同樣に身體檢査を受け合格證書を貰い現役志願者は徴兵事務條例施行細則第百卅九條に依る願書及び身上明細書と共に此を任意の徴兵署に差出し一年志願兵身體檢査受驗者は一年志願兵條例施行細則第六條に依る願書及附屬書類と共に八月五日迄に本籍地の市町村長へ差出すのである然るに現役志願者にして

任意の徴兵署 を選り願書に記載した希望部隊の徴募師管の某徴兵署を選ばずして本籍地の聯隊區司令官へ差出たので切角の希望部隊へ入隊することが出來ず目的を水泡に歸せしめた例がある一例を擧げると福岡縣のもので京城に在留して居つたものが龍山の歩兵第七十八聯隊を希望したとすれば其の徴募師管たる第五師團の某徴兵署へ願ひ出なければならぬのである、それを本籍地たる福岡聯隊區司令部へ願ひ出た爲め徴募師管でないから入隊することが出來なかつた樣なものであるそれで身體檢査の節合格したら檢查係に能く聞いて願ひ書を差出すことにせなければいけない又

學生等にして 往々一年志願兵願と一年志願兵身體檢査願と混淆したものがある適齡者若くは其れ以上の者は徴兵檢査を受けて合格した後一年志願兵願を八月五日までに差出すもので、未だ適齡に達しないもの云ひ換ゆれば滿十七歳以上二十一歳未滿の者で一年志願兵たらんとする希望を有するものは身體檢査を願出合格したら證書の下附を乞ひ一年志願兵願を出すのである此れを混同しあるのは甚だ遺憾である

身體檢査期日 は四月一日から四月十五日迄の間に施行せらる、規定であるから其の期日が確定すれば檢査施行部隊長より各所に告示し尚受驗者へは呼出令狀を以て通達せらる、のである多分本年も龍山では四月一日より四月五日か六日迄の間に行はる、事と思ふ故に受驗者は常に己の居所を明かにし諸準備を整へ徴兵檢査と云ふ男子に取つて一生一度の晴れの場所に不覺を取らぬ樣にせなければならない

婦人と家庭

鼻の實扶的利亞
四五歳までの幼兒に多い 油斷すると命を奪はれる
桑名醫學士談

世間一般ではジフテリヤと云へば大抵は咽喉を侵す場合丈けを考へますが別にジフテリヤ菌が感冒を引いて鼻加答兒を起してゐる鼻粘膜を侵したり又は咽喉ジフテリヤが鼻の方に進むと鼻腔ジフテリヤとなるのです此は

扁桃腺 などの腺様組織の發達の盛な子供殊に一歳以後から四五歳までのものに比較的多いものであります症狀は發熱し惡寒を催し非常に機嫌が惡く鼻がツマるから哺乳兒などは乳が飲めなくなりますが少しく鼻風位に考へて鼻から膿が出てくるまでそれと氣の付かぬ場合が多く鼻粘膜が赤く腫れて來て其處に白い凝膜が張られてから初めて素人は之は捨て置けぬと

醫師を 訪ふ位でありますそして凝膜が次第に濃く厚くなつて鼻腔がそれで充滿し終ひには鼻汁と一緒に凝膜が出て來るもので又その炎症が副鼻腔内にまで及んだため眼球が腫て突出した樣になる事もあります無論それは素人手當は及ばないものですから成るだけ早くその徴候を發見する事に努め若しその疑ひがあつた場合は速かにジフテリヤの血清注射を受ける事が肝要です捨て置くとジフテリヤ菌に依つて醸された

毒素が 血液中に混入して多くは口蓋筋の麻痺及び餘り重い場合でなくても心臟麻痺を惹起して斃れる例もあります尚これは傳染しますから罹病の際は患者を隔離する事は勿論ですが少しでも疑ひがあつたら玩具、寢衣、夜具など其他の者にはよく區別し日光に曝しその上にまた石炭酸を噴霧して消毒を完全にしなければなりません

職業婦人
タイピストの群
京城には邦文の練習所のみ

婦人の職業として、近來タイピストと云ふのが高唱され、一の技術であり、又相當の收入もあり、それに仕事が細かいので、

婦人には 好適の事務で著しく普及されてきました。當地では重だつた會社銀行官廳などには大低使用されてゐますが、重に和文で、婦人として歐文を自由にたゝく人は三井物產に見受ける位であります。これらの人は内地の養成所の手を經た人もあり、又銀行會社内で養成された人もあります。それに和文の方は

普通教育 を受けた人でも其の活字の位置と機械の扱方が分かれば練習によつて出來るのであるが。歐文の方は相當な英語の素養がなくては自由に

和文は練習も至つて容易いが歐文となるとさうは行かない

たゝかれないから。高等女學校程度の教育を受けた人でも尙暫らく專門的の教へを經ねばならぬ外國貿易の盛んな横濱神戸あたりでは直に

其の必要 を認められて待遇もいいが此處ではまだ比較的對外關係の少い處から歐文などは殆ど男子の方の片手間に附されて其の必要を痛く感じない爲に給與も内地ほどでなく、和文の方は普通事務員給と同じく歐文を取扱ふ人で普通五六十圓以上である。此點は最もタイピストの

環境から 受くる痛手とでも云はうか兎に角才の有樣で京城としてはまだ養成機關さへも完實されてなく、漸く微々たる邦文の練習所が南山町にある位に過ぎない。然し今後は婦人の職業として目覺しい發展を見るに至るであらう。

コドモラン

妹
東大門小學四年 吉本茂鄉

去年の春僕はお父さんやお母さんや妹と内地へ歸つた。ある日の事で有つた。妹『裏の山にわらびをとりにいかう』僕『うん行かう』と二人で裏山へのぼりはじめた。だん／＼とのぼるこわらびはそのあたりにいくらでもある。妹はうれしさうにとつて居た。僕『あそこにわらびがたくさんあるからあちらへいかう』妹『はい』と言つて僕の後からついて來た、僕が走り出すと妹も走つた。急に妹がなきだしたので、見るとかやで足を切つて、ちがだら／＼と出て居た僕は驚いて、内へつれて歸つた。

京人形
鍾路小學四年 新井定子

千代紙でつくつたきれいな箱の中には私の一番大切にしてゐる物があります。それは去年の夏、京城の三越で買つていただいた京人形でほんとに可愛いのでふさ／＼とした、まつくろな髪の毛に、ほゝはりんごの様に赤くて、ゆうぜんの長いげんろくそでの着物を著て、いつもの箱の中に御行儀よくすわつてゐます。この間まで京子ちやんと呼んでゐましたけれども、一週間程前京城の親類の人が病氣にかゝられたといふ事をきいてゐましたので、大事な京子ちやんも、もしや病氣にでもかゝつては大へんだと、思つて名を花子とかへました。だん／＼暖くなつて、櫻の花ざかりの頃も、近づきましたから、花子さんにも花見晴着をこしらへてやりませう。

藝術の旅

德川賴倫侯嗣子賴貞氏は爲子夫人同伴歐米各國に於ける樂譜其他研究視察の爲二十七日午前八時半、多數の見送り中に東京驛汽車で出發したが途中和歌山に立寄り、來る二月一日神戸解纜の加賀丸で渡歐する由＝寫眞は賴貞氏と爲子夫人＝

獨逸廢帝の妹君ドライカム男爵か
加特力の尼さん
日本の一隅に十年を暮す
六十一歳といふ老齡の身で聖心女學院に教鞭を執り

世界の大戰亂を引起した獨逸廢帝ウイルヘルムカイザーの令妹が帝都の一女學校の音樂と獨逸語の教師となりカトリツクの尼となつて唯一人、人に知られぬ

佗住居 をして居ると云ふ靡異すべき一事がある女史の名はドライカムと云ひ男爵を有して居る芝白金三光町の聖心女子學院に音樂と獨逸語の教鞭を取り孜々として十年一日の如く教へ子を愛しんで居るが流石兄カイザーの血をうけて氣高い優美な姿は外國人に見馴れた都人の兩眼のみでなく

外國人 の子弟を蒐めて居る學院の生徒等の眼にも外國人まで如何にも身分ある婦人と首肯させて居る芝白金の聖心女子學院に訪れると「私はカトリツクの信者で音樂と獨逸語の教鞭を取つて居りますがかうして一生を盡す事が唯一の樂みで身邊の事に付いて何事もお話するを欲しません」と口を緘して語らなかつたが

庭の隈 なる梅花の綻りから捲き起つた寒風に女史の目の涙をさらつた更に同校の一幹部は語る『ドライカムさんのこちらへ來られたのは明治四十三年のことで今年として六十一歳昨今は身體も良ろしからず打とけませんが生徒は眞の母よりも親しみを以て居ます身分は男爵ですが宗教の掟として履歴は絶對に語られません』因に聖心女子學院は

在東京 カトリツクの中でも最も嚴格なる不言實行主義に據る尼寺にて絕對的に記者を嫌ひ閉兒をさけ公ならん事を痛く恐れて居つた（東京）

女傑
京城に現れた 川島鶴汀女史

一時朝鮮から支那の上海乃至廣東にかけて女豪傑として其名を謳はれ殊に其書道をよくする處から、京城に於ては總督府の人々及び朝鮮上流婦人界に持囃された川島鶴汀女史（これは又々何等かの意味をもたらして此程入城旭町二ノ五二に寄寓し昔馴染の上流婦人連の乞ひにより獨特な速成的書道の教授をやつてゐられます、

女史は岐阜縣の生れで東京音樂學校選科卒業後一旦歸郷したが離別後生家に歸り、多年獨身生活を續けて女學校の教職をとり又四十一年頃は南鮮で農園を經營し、後は實業界に入り女實業人など目覺ましく活躍した人はごあつて變なら容なら兎に角一日變つたところがあります

『當地は曾て覺わもある土地で多少地理も言語も風俗も解する處から此地を當分根城として、今一度活躍、ここに内鮮婦人間の融和に努めよう』と意氣込んでゐました。そしてその書道といふのは頗るふるつた教授のしかたで如何なる惡筆も僅二週間で不思議に覺い得るといふ

小野名人逝く
享年九十一

棋界の奇傑名人小野五平氏は、舊臘下旬頃より胃腸炎に罹り、元數寄屋町の自邸に於て眞吉醫師の診療を受け居たりしが、最近に至り病勢頓に募り、二十九日午後五時遂に死去せり享年九十一歳

夫人くに子 は昨年十月物故し、嗣子又夭折して在らず、養子爲吉氏を迎へ居れるが葬儀は親戚及び門人坂田八段を始め高弟一同を招電したる上決定する由、右に就き友人土屋三段は語る『私は先月二十四日頃に參つた時は話は大分くぎくなつたやうだつた何を云つても老齡だから苦痛なく眠るが如く逝かれたやうだ、名人は

十七歳から 將棋道に入つて、十一代大橋宗桂の高弟で、古今の名人と云はれた天野宗歩と云ふ人に就いて學ばれ棋界の推選で名人になられた。それは今より二十年位前にならう逸話と云つて別にないが明治二十六年故福澤諭吉先生の邸で外人と西洋將棋と云ふものを始めて手合せしたのは有名な話で其時名人は二局打つて一局は首尾よく勝つたさうだ、

其時名人は 負けたら國辱となると云ふので餘程氣を入れてさしたものと見ゐて、目を閉ぢる時迄うは言をいつて居られた位だ知名の門人には坂田八段を始め、矢島七段、岡村五段等十數名ある、又柳澤伯や大橋新太郎氏等も熱心な門人である

地獄耳

二十九日花月で開かれた商業會議所議員の新年宴會席上で各議員が隠し藝を頭取の指揮の下にやつた△會頭は例の商業會議所大會に於ける議長振りと同じ樣な口調で『夫れでは二宮君の踊りを御願ひします』『次は釘本君の端唄』『次は藤富君のステテコ』と順次に異議なし異議なしの下に一藝を演じ拍手喝采△二宮君に『緊急動議があります』とて美濃部の都々逸を所望に及ぶと會頭も『他人をいじめると直ぐこれだ』と云ひながら都々逸を吟味のある落付いた聲でやつた△其都々逸の文句は一寸發表するも惜しい事程左樣に『現代的のもので柔能く剛を制すと云ふ意味の者であつた

コロンビヤ横濱間
定期航路を開始す

エス、リノサ、クズマン氏は嘗て親日派として知られ就任以來横濱と[illegible]に定期航路を開く計畫を樹て[illegible]國政府並に商業關係業者間を奔走の上[illegible]決定した[illegible]貿易振興のために同船にはコロンビア國の代表實業家貿易業者五十餘名が乘船來朝する由で[illegible]る土地が肥沃で珈琲、[illegible]物に富むだ広大な[illegible]ツチ卒業のドツカリとした英國風の紳士である（横濱）

城津に猖紅熱

[illegible]く多數の死亡者を出し滿鐵社宅にても既に四五名の死亡者あり一般に悲恐を來し居れりと

大長崎縣下に建設中の[illegible]

東[illegible]

海軍省では八八艦隊の建造と共に[illegible]能力は現在船橋無線電信局を擴張し[illegible]

レデイメード
宣傳大賣出

英國製の インジゴ染 ガランチー附
紺サージ脊廣三揃
裏地黒アルパカ朱子袖裏カイキ
弊店工場裁縫
コレモ眞の實費卸ち
金六拾五圓で
貳百着限り提供致します

既成服發賣以來嘖々たる好評を博し飛ぶが如く賣行ます併し未だ既成部の眞價を御存知なき方も澤山あらせらる樣子で誠に遺憾に堪ません今回之が宣傳の意味を以て實費提供を企てました成程 成程!!と御合點を願ひ進んでプロパカンダの勞を煩はしそして吾々が常にヨキ服を安く提供したいと洋服を飽迄實用化せしめたいと云ふ意志のある所を知つて頂きたいのであります

京城 丁子屋洋服店 南大門通

李王職御用 鐵道病院御用 模範 全乳 東亞牧場 （電話五二二番）

親切叮嚀に相働き申候 安東驛前通 新陽旅館 長電話五四一番

京日案內（番外）

度量衡器賣買修理 京城府龍山漢江通六番地三角地 伊藤商行 電話六四三番

▲外勤社員招聘 本人履歷書持參來社あれ 長谷川町 帝國公債會社

▲電話讓渡 三〇四番呼良し 希望の方は左記へ御照會を乞ふ 永樂町二丁目七拾六番地 志田

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製標本調製鳥類手材買入 剝毛皮鳥毛貿易商 橋本商行 京城本町二 電話長二〇六五番

▲社員募集 希望者ハ履歷書持參本人來談アリ度シ 京城府旭町二丁目七十八 横濱生命保險會社朝鮮支店

春川行並に賃貸車 電話三八三 京城黃金町二丁目百拾五番地 京江自動車商會

恩給 年金證書は御渡し致候 即時引換に

勸業債券 賣入地方は書留郵送にて御送金 京城若草町一〇六 西村商會

目錄 出來申候 御申込次第送呈 朝鮮本町 多數持合セ居候 京城本町二丁目 電話三三四八番 森田文光堂本店

女事務員募集 一、非常ニ充分經驗ヲ有スル方 一、勤務午前九時ヨリ午後五時迄 一、年齡貳拾五歲ヨリ三拾五歲迄 一、市内ニ確實ナル保證人ヲ要ス 右希望者ハ履歷書持參本人來談アリタシ

京城長谷川町 近澤洋紙店

ほねつぎ（うちみくじき） 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

▲寫眞技師入用 希望者は本人來談あれ 仁川 井上寫眞館

○相手方住所の遠近を不問○ 貸金手形證書買受整理 京城旭町一の九 大久保辯護士邸前 公明社

店讓り度し 大至急 京城旭町一丁目 バー前 松屋商店

▲旅館店員入用 京城南山町二丁目 天眞樓旅館 電話七三三番

▲讓店 旭町一丁目雜貨店居抜きの儘讓り度し 希望者は京城長谷川町巡査派出所東脇 小田方へ

▲敷地讓受度し 南大門通り附近商店五十坪内外を希望す直接御通知ありたし 南大門外 電話一〇五番 中根商會

當協會副會長馬場卯之助氏病氣療養不相叶本日午前八時死去相成候に付此段謹告候也
大正十年二月一日
仁川穀物協會

父卯之助儀病氣療養中の處養生不相叶本日午前八時死去致候間此段生前辱知諸彦へ謹告候也
追而葬儀ハ來ル三日午後仁川西本願寺ニ於テ相營可申候
二月一日 仁川濱町十二番地
男 馬場忠太郎 馬場安太郎
親戚總代 香村菊次郎 飯尾芳太郎 小林儀三郎
友人總代 庄野嘉藏 吉金喜三郎 高杉昇

貞敬夫人光山金氏以宿患一月二十三日（陰十二月十五日）午後十時別世茲以訃告
葬地 臨時列車ニテ水原郡東灘面金谷里ニ埋葬
發靷 二月二日（陰十二月二十五日）午前七時
返虞 同日午後九時三十分
式場 南大門停車場貴賓室及其前場
大正十年一月三十日
嗣子 閔庭植
夫弟 閔泳璘 閔泳璇

來る三月の中旬から

過般憤慨…赴任した南米コロンビア領事エドワード…一步こして健闘こ本國間この間の汽船で特に此際兩國の親善こ…不明である 右は新造…のコロンビア領事館を訪へば同氏は快よく語る日米人は最外國人に比し耕作や…事に對する優秀の技術をもつてゐる…コロンビア…の貿易は盛になるこ思ふ…因に同領事は英國キングス、カレしたるが昨今猩紅熱の蔓延甚だし

朝鮮に望ましき社會施設（一）

職業紹介所と廉價宿泊所を

恩賜金利子の利用に就て

南大門外 西澤生（投）

朝鮮に望ましき社會施設は緊急を要するもの・みにても十指を越ゆるので何れを先にすべきかは精密なる比較調査の後論ずべきであるが私は

恩賜金利子 二萬五千圓を以てする社會事業として職業紹介所及び之に附屬する廉價宿泊所（無料に非ず）を提案するものである。恒產無くして職業を離れたる徒の恐くこころ知るべきである。安寧秩序を亂す行爲を敢てし有識の士と雖も窮迫閑居すれば思想の安定を失する動機を釀すのである。賢者は救貧よりも防貧に力を致すべきである。

治療よりも 豫防である此のブルヂョア側に取つても此の施設によつて容易に使傭人を得て業務の遂行を圓滑ならしむることが能る即ち一擧兩得である職業紹介所の有益で有の無に拘るの理由を今此處に枚擧する要はないので只施設方法の概略だけを述ぶることにする事務所はなる可く市の中央で事務室面會室宿直室それに

電話を設備 すれば澤山である案内支部を南大門驛頭鍾路十字街其外數ケ所に建るのであるが然しとは交番派出所位の簡易な十人位を容るれば足りるものこし必要に應じて次第に增設する寢具は提供するも食物は一切供しない而して一泊十錢位の料金をこる所長には常識に富める敎養ある

人物を選定 し申込人の案配を司ごる其下に內鮮人事務員兩三名を置く官廳會社、受負業者商店等の事務員店員小使ひ勞働者は勿論家庭の下女鮮童又は產婆看護婦病氣轉居冠婚葬祭等に人手を要する場合の臨時傭人の周旋をなし又事情によつては仲居酌婦娼妓の取扱 又可なりである單に申込を受くるに止めず他動的に雇傭兩方面に

勸誘募集の 宣傳をなすのではある、例へば會社の解散事業縮小を耳にしたる時は彼解雇人に又設立擴張あるものに向かつては採用法を懇談するのである又時々急行列車を迎へて新渡鮮の徒手空拳黨に宣傳を試むるなごも妙であらう從來朝鮮人宿屋の多くが宿屋に兼ぬるに就職口の周旋を營んで居るのに鑑み又

內地人側に 該施設が內地に於ける夫れよりもより歡迎せられより成功すべきことは火を見るよりも明である斯くて失業者を救濟し併せて資產階級を便し需要供給の仲介こして國家の勞働經濟上益する所甚大なる該事業がしかも恩賜金によつて設立せらる、この一日も速かならんことを切望するのである

東宮御渡歐に就き大任を拜した 小栗司令長官

民法上認めらるゝ

內鮮人の結婚

內鮮融合の精神に副うて嬉しい 近く愈々民籍法こ 民事令改正されん

民籍法及民事令改正委員會は數年來の問題である鮮人の民籍に關する

審議を續け て來たが去る卅一日午後總督府第一會議室で同委員會を開催し委員長橫田法務局長統裁の下に委員小田繩幹課長小田中樞院書記官、張間參事官、渡邊事務官、安武裁原參事官出席の上慎重審議の末漸く成案を得たらしく近く右成案を攜へて法務局の原民事課長東上して司法省こ交涉の後

御裁可發布 を見るべしこ推せられる從來は內鮮人の結婚は民籍法で認めないので何等法律上の關係が生せず先づ內緣の夫婦こ云つた形であつたので從つて內鮮融和の大精神にも副はぬ事こなつてゐたが愈々民籍法及び民事令が改正され愈々實施の曉には內鮮人の結婚が

天下晴れて の夫婦こへ法律でも認められる事になるで內鮮融和の點からも洵に喜ぶべき事である右に關し橫田委員長は語る『委員會の研究の結果が多少纏つたこ云ふに過ぎないのです。成案の內容ですか……夫れは公表の時機ではありませんが要するに從來の民籍法を改正し內鮮人の

結婚が法律 上も認められる事になるのですが原課長東上の結果でなければ何ごも云へません』

長い間の念が届いて

女子參政問題が 愈々上程される

もう大丈夫こ思ひます……こ 笑を含んで雷鳥女史語る

新婦人協會が第四十二議會以來運動を續けて居た治安警察法第五條の改正の件は

婦人連 の奔走の効あつて政友會幹事長廣岡宇一郎氏一宮房治郎兩氏か岡崎邦輔其他數名の贊成者を得て二十八日世界の進運に隨ひ女子が公衆の會同する政談集會に加入し得ることを相當こ認むこの理由を附し衆議院に提出し兩三日中に上程さる、ここ、なつた此問題に就いて永い間彼方斯方に飛び廻り議會の

傍聽席 に陣取つて居た雷鳥平塚明子女史を田端の寓居に訪れるこ左も嬉しさうな表情で夫れでも『マア怎うにか物になつた』こ笑顏を造つて語り出す『政友會の方から提案して下さつたのでモー大丈夫こ思ひます然うして一宮房治郎さんが提案說明されるやうに聽いて居ります、モ一同賴致しますこ彼是

十年前 の古い話で昨年逝くなつた遠藤淸子さんが先立になつて運動されたのが始めてであつたこ存じます、夫れはく其の當時私達婦人は非常に急進論者で過激思想でも懷いて居るやうに誤解されて除り取扱つて與れるこも思はなかつたので、デモ是れは第一の序幕で私達の仕事は澤山あり過ぎて

困る程 です今明中に政治的結社加入禁止の項を削除する法律案が前議會こ同樣無所屬の秋本田淵中野國民の植原近藤憲政會の永井政友會の島田岡崎さん等の贊成で提出されることになつて居ます此の方は別に困難でもないやうに思ひますが

今一つは婦人參政權要求の選擧法改正案が一週間ばかり後れて松本君平林田龜太郎さん迄に

無所屬 議員の方々が中心に成て憲國兩黨の贊成で提案を見る筈になつて居ります尚花柳病に對する結婚制限並に離婚請求に關する請願も出るここになつて居ります』（東京電報）

來朝せるパツキーール共和國代表靑年

露領亞細亞の國民代表者十一名はパツキール民族共和國委員長ルバンガリエフ氏こ共に二十九日來朝した

東京市の瓦斯問題

三代議士にも波及せん

東京市疑獄事件發生より注意せられし東京瓦斯會社前社長久米民平作氏は卅一日午前十時突然東京地方裁判所檢事局に召喚され猪股、大平兩檢事の取調べを受け同夜十一時司法省自動車にて東京監獄に收監されたり事件の內容は報道の自由を有せざるも瓦斯會社に關係せるは勿論なるべく近來與議長こ檢事當局この會見こ言ひ東京瓦斯問題は益紛糾を見るべく關係者等は人心恟々たるものありこ

大規模密航計畫

‖對米船鐵交換船を利用‖ 續々檢擧の手延ぶ

赤坂憲兵隊にては京濱及靜岡憲兵隊の應援を得て頃日來大活動を繼續しつゝありしが其の結果陸海軍將校並に民間汽船の船長機關長受負業者を續々召喚取調中にて其の取調べ一部は既に終了せるため東京地方裁判所に一件書類を送致せり事件の內容は日米船鐵交換によつて日本にて建造せる汽船の回航にはじまるが元郵船會社船長府下西大久保武市恒毅は交換船の回航を一手に引受くる計畫をたて運動の結果五隻の回航を受負ひ此回航を利用し大仕掛の密航を計り多數の部下を使用し其の希望者には一名一千圓の約束にて密航せしめ尚各港の密航親分こも連絡をこりし形跡ありて本件の連累者にして憲兵隊の嚴重なる取調べを受けたるは二十名以上に上り尚ほ連日取調べを續行しつゝあり（東京特電）

獸疫中最も怖ろしい牛疫と流行性鵞口瘡に就て

警務局衞生課發表

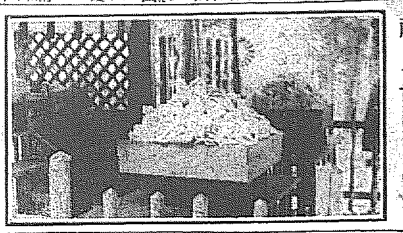
朝鮮に於ける獸疫中最も恐るべきものを牛疫及流行性鵞口瘡こす而して此の病毒は殆ご每年

支那滿洲 より侵入するを常こし其侵襲被害地は何れも國境方面の平安北道並に咸鏡南北道なり鴨綠江及び豆滿江の流域は解氷時に於ては全く畜牛の出入遮斷せらるゝも結氷後は江上の交通自由なるを以て對岸支那地に在る朝鮮人こ朝鮮內の住民この間に生活上必要なる物資の交換及び越境耕作者の收穫物を鮮內に運搬する等の關係上彼我の交通頻繁を加へ益病毒の侵入を容易ならしむる爲め

之等獸疫 は主こして冬季に流行を見一朝兩症の發生を見むか產業並に交通上に及ぼす影響甚大にして畜主の損害多大なるのみならず之が防遏の爲國家も巨萬の國帑を費すを例こす本年も一月十三日咸鏡北道茂山郡西下面に於て對岸支那地より病毒の侵襲を受け八頭の牛疫發生を見延て

其の病毒 は隣接三長面に及び今日迄六十二頭の罹病牛を算するに至り又同月廿二日平安北道江界郡龍林面に於ては系統不明（恐らく對岸より物資の輸入に當り病毒の附着せしものならん）なる八頭の流行性鵞口瘡の發生を見今や漸く之等恐るべき獸疫の流行期に入らんこしつゝあり當局は發生の報に接するや否や直ちに道廳より機を失せず獸醫を急派せしめ尚

本府より も技師技手等を派遣し極力最善の方法を講じ血精注射の施行。牛岡の交通遮斷、防疫班並に自衞團の組織等防遏上遺憾なきを期しつゝあり



福豆 京城神社にて

朝鮮全道の

行旅死亡人調べ（二）

全無力者の悲慘な最後 死亡者の年齡と性 『水の兒童』に溺死が多い

內務局第二課 山名善來氏談

三、死亡者の年齡と性

	年齡	男	女	計
全無力者	十歲以下	四二	二六	六八
	十五歲以下	五二	八	六〇
準無力者	二十歲以下	七一	二三	九四
有力者	三十歲以下	二九八	五七	三五五
	四十歲以下	三八八	六八	四五六
	五十歲以下	三一七	六九	三八六
	六十歲以下	三一二	五四	三六六
	計	[illegible]	[illegible]	一、五六三
準無力者	七十歲以下	二一五	四五	二六〇
	七十五歲以下	五二	一五	六七
	八十歲以下	三〇	九	三九
全無力者	八十歲以上	八	一	九
	合計	一七六四	三七四	二一三八

男女の百分比は八十二人こ十八人であるが本表に依り更に如何なる年齡に於て其の男女數が增減せるかを見る事が出來やう前表は十歲及二十歲の間並に七十歲及八十歲の間を更に二段に區分せりこ雖何れも假に十年を一期こしての合計表に付き之を觀察するに男子に於ては十歲以下の幼稚者は四十二人なるも二十歲以下の者は

急に增加し 約其の三倍に當れる百二十三人に增加し三十歲以下の者は更に二十歲以下の二倍四分を增し四十歲以下に至る迄增加を續け四十歲を越ゆるに至り以下逐次遞減してゐる女子に於ける割合は男子こ稍其の趣きを異にし急な增減の跡を示さないが何れも自然的增加數にして最多なるは五十歲以下四十歲以上の者にて五十歲を越ゆるに從ひ遞減してゐる

右の遞增減 の割合よりを見るこきは男子二十歲を越ゆるに至れば他人の庇護を離れて自らの努力に依り衣食せざるべからざるが故に世上の患苦に遭遇するここ急に增加すべきは勿論である從つて二十歲以下こ三十歲以下この間に於て突飛なる數字の差增しを來したものであらう之に反し女子に在りては二十歲を越ゆる者の大部分は男性の庇護に隱れて直接社會の表面に立たぬ爲め二十歲以上に於ける狀況は年齡こ共に當然順潮なる增加傾向を示せり只男子の最多年齡が三十歲以上四十歲以下なるに拘らず女子は四十歲以上五十歲以下の者を最多こするは注意すべき現象である又前表に依れば二十歲以上六十歲以下の最も有力なる

勞働時代の 死亡が準無力及び全無力時代の總和數より多きは一に死亡者自身が怠慢こ遊惰より得たる自活不能又は貧困の結果このみ見るは當らざるべく社會的に奮鬪を要すべき時機にして危難窮苦に遭遇するの機會自ら多きに依るも亦其の重大因ならずこせむや然れども今是等勞働力ある者に就きてはしばらく之を措くも六十歲以上及二十歲以下の者又は全無力者が行き暮れて道に斃る、者五百九十八人即ち一年約六百人を生じてゐるのは悲慘事である

四、死因こ年齡

	二十歲以下	二十歲以上	六十歲以上	計
病死	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
凍死	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
溺死	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
營養不良	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
自殺又他殺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不慮ノ災難等	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
餓死	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
老衰	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中毒	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不明	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

二十歲以下の全又は準無力者中に病者の最も多きは當然にして次は溺死こす『水こ兒童』こ云へる老年者に見ざる親和關係あるる自然の狀態が不慮的偶然の危險を冒したるもの多きが爲なるべし凍死は今暫く之を措くも同年齡者中營養不良並に餓死者の在るは氣の毒な事である

是等年齡者 は未だ長者親近者の庇護に生くる時代にして反て此悲慘なる狀況を見るは眞に一掬同情の念なき能はざるべし老年者に於ける死因は年少者こ趣きを異にし病死、凍死、營養不良、老衰餓死、溺死等の順序に其の誘因があり是等は何れも老て其の子弟を有せず單獨に其の活路を求めつ・世路に辛酸を甞むるの止むなき結果茲に至つたものであらう

緩衝機（投書歡迎）

京中夜行軍

本町四 一父兄

小生は京城中學の體育獎勵方針に贊成を表する人なり同校こても寒稽古や夜行軍を必ずしも强制すべき由來男子には三分の發育ある要を筋骨に在りては小學兒童の精神を鍛へる爲めに雪中裸體運動を獎勵するに非ずや況んや寒稽古や夜行軍なるや自稱父兄總代氏は父兄總代と僭稱するも小生等は知らず同氏は總代の資格なき也

一雇員に與ふ

法衙 松井星華

一月三十日の本欄にて一雇員の所謂『雇員の悲哀』を讀む世上或は彼の言に共鳴する者あらんも予は與せず予は短刀直入先づ問ふ一雇員君よ、足下は何物を標準こしてその境遇の悲慘を想ふるや次に足下が自ら欲する職務を無意義なりこ叫ぶは果して何等の痛苦ぞや更に上長の歡心を買ひその意に迎合するに汲々たりこ言ふが如きに至りては實に言はんこ欲する己の卑劣を語るものにあらずして何ぞや君の爲したる一言一句は悉く足下一個人の感想たるのみ日本帝國の劣兒ぞ君こ意氣を同ふせん須く眼界を擴け足下の立脚せる社會の一員としての足下を省て後に言を爲せ君がその屬する官廳の上長の爲に賤視せられ虐待せらるこいふも因つて來る處の半は自ら省ぶべきにあらざるなきや思ひ思ふて已れに非なくんばは以て慰むるに足らん前に現在に甘んじて內に向上の一路を辿るべし向上に望む矢は自己の天分に安んじて主觀の幸福に生きよ、然も尚ほ忍ぶべからざるものあらば須く君の言ふが如き正義人道を無視し部下を驅使する上長の下を去りて新進路を他に求めよ君にして殘の眞の孰れにも探る能はずとせば終に何人がよく君を拯はん、不平に充ちたる光陰を迎して死門に突入するの一途のみ

不良少年

福岡縣生れ花岡公那は昨年五月兩親を失ひ悲嘆の結果當時失神の狀態であつたが親戚が京城南大門通り五番地に竹刀商を營んでゐるのを賴つて來城花岡小七方に滯在中いつか不良少年の群に入り各所を荒し廻つてゐたが卅一日近野刑事に捕はれ目下取調べ中であるが被害者は龍山元町中村藤七其他ある見込みなり

通商局長狙撃犯人 懲役五年

外務省の軟弱冷酷なる態度を憤り昨年九月四日外務省に於て通商局第一課長齋藤良衞氏を拳銃にて狙撃したる川北電氣會社々員石山啓六氏の殺人公判は三十一日午前十時東京地方裁判所第一部法廷にて野崎裁判長係りにて開廷檢事は被告に同情し懲役五年を論告したり（東京電報）

在京の

鮮人學生

八百餘名は 靜かに勉學を 續けて居る

最近警視廳の調査に依れば在京鮮人學生の總計は八百餘人にして內女學生四十四其學校別を檢すれば明治大學の約七十人を筆頭に早稻田法政中央等の各私立大學最も多數にして東京帝國大學各科に在學せるものは僅に三名で此他は都下の各公立學校に數名宛分散一般に冷靜なる態度にて勉學を續け居れり（東京特電）

滿鐵本線に

肺ペスト

乘客の支那人

卅一日午前八時二十分長春發列車乘客の支那人一名肺ペスト病に罹りたるを以て直に隔離所に收容したるが研究の結果疑似肺ペスト病こ確診せり（公主嶺特電）

海軍無線電信所

十年度內には竣功

保國寺府下長崎村…海軍無線電信所は…全部純日本海軍式で同所の機械施設は其電波通信に一層の進捗を計り同年度末に何ごかして通信開始まで運ぶ…

株式失權公告取消

左記株式ニ對スル失權公告ヲ取消ス

大正十年一月三十日 朝鮮京南鐵道株式會社

自第七六〇一號至第七七〇〇號 自第九四〇一號至第九四七號

戶丁市塋町五丁目 伊藤英一

購買 朝鮮總督府 平壤鑛業所

一、スパイキ 外五點
一、松板 外二點

右各別ニ購買ス希望者ハ二月二日ノ朝鮮官報ヲ見ヨ

▲乘合自動車開通

拓峴驛を起點こして府內各方面の御乘車に便し各列車に接續す

賃金 參拾錢均一

回數券は各停留所に於て發賣仕候

仁川新町（電話八四五番） 町田自動車部 拓峴驛構內出張所

絕好の御買入時 毛布特價品 讀者の一大幸福

英國製純毛 金七八、〇〇 / 同 上 金四九、五〇 / ラクダ毛布 金七五、〇〇 / 純白毛布 金三三、五〇 / 茶純毛布 金三三、〇〇 / 同 A號 金三〇、〇〇 / 同 B號 金一八、〇〇 / 同 C號 金一七、三〇 / 色花模樣（甲） 金一六、三〇 / 同（乙） 金一四、五〇 / 同 金一三、二〇

送料實費

京城日報代理部 振替京城三〇〇番 電話長六〇〇九番 同 長一七四八番

株式會社十八銀行 第八十七期營業報告 貸借對照表

負債之部：資本金、積立金、諸預金、事務員退職慰勞資金、諸預り金、他店ヨリ借、仕拂承諾、未拂利息及未經過割引料、未拂配當金、前期繰越金及當期純益金 … 合計

資產之部：諸貸出金、他店へ貸、仕拂承諾見返、損ケ金、諸公債及株券、營業用土地建物、雜有動產不動產、現金有高 … 合計

利益勘定：前期繰越金、當期利益金 … 合計 內 … 配當金、役員賞與金、事務員退職慰勞資金、後期繰越金

右之通候也 大正十年一月 長崎市築町百七番戶第壹號 株式會社十八銀行

取締役頭取 永見寬二 / 取締役 松田英三 / 取締役 足立瀧二郎 / 同 松田精一 / 同 藤瀨宗一郎 / 同 田添忠敏 / 監查役 山田又三郎 / 同 永見德太郎

株式會社十八銀行京城支店 / 同 仁川支店 / 同 龍山支店 / 同 龍山出張所

株式會社百三十銀行 第四十五期營業報告

資產：諸貸出金、他店へ貸（一八三七ケ所）、仕拂承諾見返、預ケ金、有價證券、營業用土地建物什器、所有動產不動產、雜勘定、現金有高 … 合計

負債：資本金、法定積立金、別途積立金、借受金、前期繰越金、當期純益金、諸預金、諸預リ金、他店ヨリ借、未拂配當金、未拂利息及未經過割引料、コールマネー及再割引手形、仕拂送金爲替手形、仕拂承諾 … 合計

利益金勘定：當期純益金、前期繰越金 … 合計 金壹百拾萬四千九百圓八拾六錢之ヲ處分スルコト左ノ如シ … 法定準備金、別段積立金、配當金、役員賞與金及交際費、後期繰越金

大正十年一月 株式會社百三十銀行

取締役頭取 安田善三郎 / 取締役 小川爲次郎 / 取締役 森本浦兵衞 / 取締役 右近權左衞門 / 取締役 內藤爲三郎 / 監查役 河井松之助 / 監查役 河村清 / 監查役 渡邊岩次郎 / 監督 安田善次郎

取締役ノ補缺ハ安田善之助氏ニ選ヒ且ツ取締役互選ヲ以テ頭取ニ就任、監查役ノ改選ハ藪田岩松氏重任

第八回貸借對照表 自大正九年一月一日至同年十二月卅一日

資產ノ部：未拂込株金、土地、建物、什器、農具、役畜、諸貸付金、預ケ金、貯藏品、假出金、未收入金、郵便切手收入印紙、現金 … 合計

負債ノ部：資本金、法定積立金、別途積立金、借受金、前期繰越金、當期純益金 … 合計

右ノ通リニ候也 大正十年一月二十日 振威興農株式會社

慶安太平記
第八十七席 小金井芦洲講演

是より師助は品川の花屋定五郎方へ來て以前預けたる衣類大小を貰ひ再び元の侍姿で旅に路に出やうと思つた時に不圖胸に浮かんだのが發て箱根の峠で別れた由井民部之助正雪、兎に角先方へ往つて二三箇月たてば師府をするさ申ふ事であつたがも是ァ正雪の所を訪ねて身の振方を付けやうと後に禍の身になるさは露知らず、是から張孔堂を訪ねて參りました、見るこ何うも人の噂に聞いたよりは宏大な構へ、徐ろ敬服の念を生じ正雪に面會を致して先頃箱根峠の無禮を詫び、此節柳生の屋敷を飛出した一件の話を致した時に正雪が『イヤそれは貴公のお考へが違ふ、柳生但馬守こいふものは今日本一人の名手武藝者の神、卸々貴公達の及ぶこころではあるまい、何か外に考へがあつて左樣な事を言はしつたのだらうが氣を落し給ふな、諸國修業なごは思ひ止まんなさい。當道場にお居であれば、未熟ながら折々は御教授も申さう先づ〳〵……』こ止められて見れば又腹を減して旅を歩くのも難儀だ、過日手合をして正雪の非凡な事は存じて居りますから遂に正雪の手許に留まる事になつた、けれごも戸村丹三郎こ名乘つては何か事があつた時に迷惑へ累を及ぼす事になるこ言ふ所から後年由井正雪が企てを圖つた時には姓名を改めて戸次與左衛門こ言つて丹三郎も一方の大將分になつたのでございます、夫れは後のお話しさして正雪は自分が大望を懐いて居るから兎に角一流に飛で居る武藝者であるさか、何か人の眞似の出來ない一能のある者だこいふと色々の手段を施らしては自分の味方に付けまする、爰に江戸芝三緣山増上寺の所化で天神ヶ谷こいふ所に居りました傳達こいふ僧がある。昔は増上寺の寮內には僧侶三千こ申して澤山の學寮があつた、其所へ皆這入つて修業をする、天神ヶ谷、授谷、三昧谷なご申すのは學寮のある地名でございます、偖て此の傳達こいふ者は大兵にして力飽まで強く腕も學問も深い、一山の僧侶此人を大力傳達こ噂して本年三十二歲、今度京都の本山なる智恩院へ増上寺から二千兩こいふ金子を納めるここになつたが之を持たしてやる者に差支る大金のここ故往復の道中が物騒ではあるし、且つ足早の者でなければこ不可ぬ誰が好からうこ衆議の結果、白羽の矢の立つたのが此の傳達、二千兩こ言ふ金子を振り分けの荷物にして増上寺を出立して京の智恩院まで行く鼠木綿の衣類に白の手甲脚絆に甲掛切緒の草鞋を履き、鼠木綿の法衣に輪袈裟を首に掛け、網代の笠旅裝ひも嚴重に天神ヶ谷を立つここになりました。旅こいふものは朝早く夕方追込むこれが大層捗取るものだ、出立の朝は七ツ暗い內に山內を出て只今から考へれば不便なもの、當今は如何に大金でも銀行こ言ふ商賣があつて爲替で送るこか又は自身が持つて行くにした所が汽車汽船の便がある、手間暇もいつたここではないが、昔は隨分危險なものでした さて増上寺を出て那れから濱松町通り金杉橋を渡つて本芝田町九丁目を通り越して大木戸高輪から八ッ山こう掛つて來ました、八ッ山下へ來た時に夜がガラリこ明け放れて、是より東海道品川宿こ云ふ棒杭を右手に見て本宿へ掛らうこするこ年の頃は四十前後目のギヨロリこした男で振分けの荷物を少しばかり、お納戸の單衣に半合羽、胴金の鞘まつた脇差、足拵へも嚴重にした旅人體の人物傳達がトッ〳〵〳〵こ行く行跡から付いて參りましたが、頓て傳達を追越してスタ〳〵〳〵行く樣子、傳達『オヤ此奴馬鹿に足の早い奴だな、俺こ競ふ意りか、エ、一番追越してやれ』こ今度は傳達が早足になつて追ひ越して仕舞つた

人參王
京城本町營業・電話 一四八〇番 一八七〇番
ツ津村兄弟商會

將棋新手合(一)
於木浦好會初會
香落
三段▲松本武正(木浦)
初段△島澤岩太郎(木浦)
(圖は二四步迄の局面)
△持駒 島澤氏 ナシ

▲三四步△七六步▲四四步△二二角▲三五步△二五步▲三三角△四八銀▲三二銀△一六步▲一四步(イ)△六八玉▲四三銀(ロ)▲七八玉▲三二飛△五六步(ハ)▲六二玉△五七銀(ニ)▲七二玉△六八銀▲八二玉(以下次號)

溝呂木七段講評
(イ)一四步突き一時凌ぎの策戰なれど面白し
(ロ)四三銀直白からず此處四二飛こ指方優れり
(ハ)五六步は緩慢なり此處二四步同步一五步同香こ戰ふ處なり
(ニ)五七銀は早し六八銀順なり

二月四日
(舊暦十二月廿七日)
▲金曜日▲戊戌▲八白 ▲暦劍辰巳▲友引▲牛 宿▲成

▼八白▲不釣合千萬な事あり進めば邪路に迷ひ入る散在を戒む
▼九紫▲何につけても面白き日慈善事業を企つるに妙特人來る
▼一白▲靜かに進めば相當効果あるべきも焦つては失敗する日
▼二黑▲進み過ぎて損耗目にして利あり女は品行を愼むべき日
▼三碧▲物事始終喰ひ違ひ易く不愉快の日旅行開店結婚其他吉
▼四綠▲目的は成就しても出費の多き日特に衛生上注意を要す
▼五黃▲氣ばかり急いて物事進まざる日世話事に顏出すは不利
▼六白▲上運にして新しき計畫上首尾但し山氣を出せば失敗す
▼七赤▲都合よき日有力な後援を得べく旅行開店求職結婚等吉

公課負擔額
京城仁川並びに水原郡水原面開城郡松都面の四箇の[illegible]
京城府 內地人の負擔額[illegible]三萬二千百九十一圓一戶當り六十三圓四十九錢五厘一人當り十六圓七十三[illegible]
仁川面 內地人[illegible]一戶當り三十七圓〇七[illegible]
水原面 內地人八千三百[illegible]戶當二十五[illegible]
松都面 內地人九千八百[illegible]

地方費豫算
(義州)平安北道大正十年度地方費豫算は[illegible]多額に達する見込みなるも何分云ふ因に右豫算諮問の爲め道評議員を招集するは二月下旬頃なる[illegible]
[illegible]

演藝案內

黄金町 黄金館 電話二六三七
二十七日より引續撰映致公開
連續活劇 魔人 全十六篇三十三卷の內 第二十四篇四卷上場
故終篇前のカフヲカン潜航艇の大爆發ダンプ隊長及び外交官の生死の境
新派悲劇 女の一念 全四卷
無情な良人を持つ婦人程不幸な者はない良人の多情より捨てられた妻子は失望の貧苦の爲め涙で袖をしぼる內途に血も無き良人の僞め殺害さるゝ妻の恨は恐ろしき亡靈となる
連續大活劇 世界の眼 全三十卷の內
[illegible]撃敗に捕へられたるケリー探偵へライオンを放つて苦しめ寶石を取り戾さんこ試みたが不成功に終つた怪物怪物人か鬼か正體は果して何者か見落し無き樣
舊劇 寛永三人町奴 全五卷
寛永年間の有名なる俠客唐犬權兵衛始めこして隱將の夜兵衛の黒兵衛等のキビ〳〵した俠客劇です
日曜祝祭日一日十五日晝夜二回開館

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
本町 大正館 電話八七三
▲一月廿八日ヨリ特別提供
◉實寫佛國製靴工場の實況 長尺
◉滑稽持參金 最長尺
▲新派悲劇 片思ひ 全十二卷ノ內前篇六卷上場
日活向島派山本嘉一派出演 柳川春葉先生大作
世界的問題の怪連續大寫眞 米國パテー會社大傑作
第二 呪の家 全十二篇四十一卷ノ內四卷上場
第三篇舞女不思議の四篇ジャヤから來た既にして京城の好活家は熱狂せり劇の幕は開いて波瀾萬丈の大活劇大画面は開かれたり怖ろしき覆面の人とは果して何者
舊劇 紀州の殿樣 全七卷
熊野の山中に[illegible]猪太郎と人か辻斬りの雁風城下に吹き荒み作人節婦無辜に泣く快漢の大活躍御主の卑住居は珍にして奇姉殺傍の非凡技倆を現せる大舊劇
入場料金特に普通
毎月一日十五日、日曜祭日晝夜開館

本町一丁目 喜樂館 電話九七七番 館主 有賀
▲一月二十八日より特撰映畫封切
▲實寫アラスカ奇觀大氷山
▲米國キーストーン會社傑作 ニコ〳〵活劇間違ひの間違ひ 全三卷
▲日活京都派尾上近の傑作紀州騷動劇の白狐
舊劇 鬼の闘平 全五卷
紀州家の御側用人町野播磨は御家を横領なさんとせし白狐の狙を鬼の闘平の活躍により奸計は破れ惡人亡び御家は御安泰となる痛快なる
下國パテー會社ルスローランド嬢主演
連續活劇 ルスの冒險 全十五編卅一卷の內
兩國のお別れは第三の鍵を以て離れなるシンー嬢を助けしが反つて惡漢の爲め彼女の胸部に鋭き短刀は今正に立てらんとす
悲劇 戀ごろも劇 全六卷
日活東京撮影所傑作 東京撮影所連續長田幹彥先生作東京各劇場にて競演せられ多大の好評を博したる戀衣劇にして今回我日活が最新機械の撮影により完成作品

本町一丁目 壽館 電話七八八
京阪女優大歌舞伎劇 水タル日初日 賣集合女優團
中村松之助、市川小鶴、尾上みどり外三十余名大一座
前狂言 小櫻萬次
切狂言 義士傳赤垣源藏
大きり余興女優手踊 安來節ごじよまぶし女優 用電氣應用ノ道具大仕掛

明治町 浪花館 電話一六〇番
◎當る二月二日ヨリ開演
三遊亭若遊三 橘家勝太郎 合同一行
橘家勝治 三遊亭若吉 榮亭奕三 三遊亭操 橘圓治 橘圓雄 桂珍八 橘家勝太郎 二代目三遊亭若遊三

最上質 男女用 ゴム サック
不思議デ快ナ進上
特製一打六十錢 極上一打一圓
男子用〇珍具 四個一圓 女子用具三個一圓
一打七十錢 特製 愛形六種
一物 專用 山アリ 安物 密送 臺灣朝鮮四五錢郵券一
振替大阪五一六五四 大阪市北區中江町 玉山堂

資本金五千萬圓
積立金貳千五百萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城府南大門通二丁目九番地
電話長二一番 六二一番 各部接續 二七番 五八番 專用 振替貯金京城一一番
頭取 佐々木勇之助
支配人 藤森忠一郎

良藥口に苦し
甘い葡萄酒の一杯よりも
少し苦くとも
津村人參王の一杯を召せ
經濟にして効果數倍
即ち一擧兩得
朝鮮京城ナ町
津村兄弟商會
振替京城三五一一番 電話一四八〇番
電略(ツ)又は(ツム) 電話一八七〇番

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町三丁目 電話二一〇三番

(順序不同)
仁川本町 株式會社朝鮮銀行仁川支店 電話長三一二番
仁川本町 株式會社十八銀行仁川支店 電話長九一八番
仁川本町 株式會社朝鮮殖産銀行仁川支店 電話一四〇番
仁川港町 株式會社朝鮮商業銀行仁川支店 電話八四九番
仁川本町 株式會社百三十銀行仁川支店 電話一〇一番
仁川港町 株式會社朝鮮實業銀行仁川支店 電話三三二番

船具 諸染料 金物
仁川本町四丁目
商 村谷吉藏本店 電話長五十六番 振替口座京城五九番
京城南大門通五丁目 京城出張所 電話三七一番

REGISTERED TRADE MARK
MITSUWA PORT WINE
is rarely a tonic of high value.
Mitsuwa Port Wine is very delicious, fragrant and pleasant to the palate.
It helps the appetite, aids digestion, restores the weak, enriches the blood, build and steadies flesh and muscles.
It is made only from the fresh grape and it contains no impurity or colouring matter.

芳醇美味
ミツワポートワイン

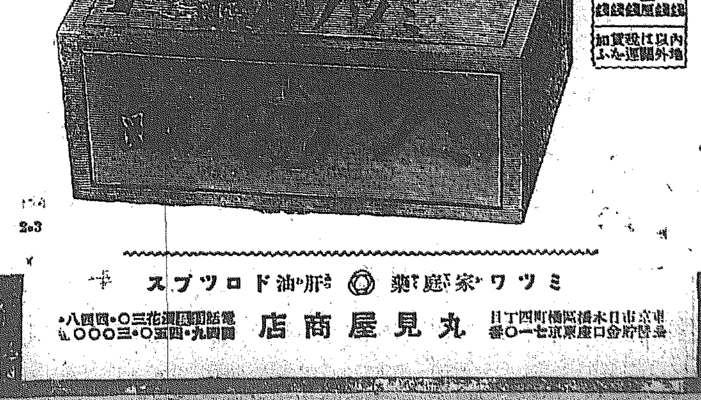
芳醇にして滋養豐富
特殊の美味佳香を有する四季の好飲料
○ミツワポートワイン
ミツワポートワインは最新の學理と豐富なる經驗に基き、精製せるものにして、鮮麗なる淡紫赤色を呈して、清澄透明、着色又は割水等の操作を施さず、常に適量を用ふれば、精神の爽快、血行の良好、元氣の充溢、動作の活潑、病苦の除去、病弱の恢復、體力の增進等に、著効を奏し、尚食慾を進め消化を助け、消化物の吸收を促し、疲勞を去り、衰弱を防ぎ、精力の旺盛、榮養の佳良を來すものである。即ち興奮、健胃、强壯等の効力を有して、人體活力の源泉として推奬すべき、特殊の美味香好を保有せる四季常用の甘美の好飲料である。

(現品縮寫圖)

賣捌 和洋酒、食料品店、藥舖、化粧品店、雜貨店
2.5

品質の優良と其特徴とは整容美髮に絶好の理想的洗料
○ミツワ石鹸
石鹸の純不純を試驗するには、先づ石鹸を亞爾箇保兒に溶解するこ、純正の石鹸なれば透明なる溶解液が出來る、これは遊離脂肪を含有しない證據である。尚其透明液に沈渣を殘さないならば、それは混合物が無いからである。更に「フエノールフタレイン」を以て、遊離の亞爾加里を驗して、反應を呈さなかつたならば、其石鹸は化學上の純石鹸こして推賞されるのである。然し本邦人の皮膚毛髮の洗滌に適する化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸であるこ云ふこ計で、其適否を斷定するこごは出來ない。ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるこ共に、左の特徴を具備してゐるので、一般家庭に於ける浴室、化粧用こして合理的の實用品である。本品の特徴は
一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず
一、適度の溶解性を具へて、而も半途に溶け崩るゝ憂なし
一、本邦人の皮膚毛髮の洗滌に最も適合す
一、頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ

大形 金參拾參錢
中形 金貳拾五錢
小形 金拾六錢五厘
極小形 金七錢
水石鹸 金參拾五錢 金五十錢
內地以外は運賃を加ふ



2.3
ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス
東京市日本橋區橋町四丁目 振替貯金口座東京一七〇一番
丸見屋商店
電話浪花三〇・四八四番 九四〇五・三〇〇〇番

倫敦デーリー・メールは[illegible]に應じ得る準備を[illegible]斷して來る四月[illegible]なすべく注意せりと報じつゝあるが倫敦タイムスも此報道を是認せり因に陸軍豫算は九億五千萬磅を超過せずと云はれ居れり

[illegible]三十日當地に於てピアンチ大使の發表したる所に依ればガテマラ、ホンジュラス、サルヴァドル、コスタリカの四共和國を併合して中米共和國を建設せんとする條約批准は來る九月十七日行はる、尚ほエカロウワ國も之に加はるべしと觀測せらる

獨逸軍備
縮小規定

(倫敦廿九日發電)聯合國最高會議にて決定せるパリー協定中の軍事條項左の如し

[illegible]武器の引渡しは其一部分を七月一日迄に渡引す事

一、規定以上の軍隊は七月一日迄に解散する事

(倫敦二十九日發電)二十八日夜當地ヴオーテルに催されたる米國人の會合にて我が米國が[illegible]アイルランド問題は間もなく解決[illegible]

奧國財政援助

[illegible]政府の強硬策を猶豫したのは注目に値す[illegible]外に[illegible]組織して奧太利に二億[illegible]貸付くる件を可決せり

[illegible]高氣壓は支那北部に高くそれより南東方に向ひて週頃しつゝあり黄海方面はその勢稍緩慢なるも晴天なるも北東部は[illegible]

仁川 入 出 高 午前 午後[illegible]

地價の低落程度
金融關係とその前途

土地價格は財界動搖期に於て諸物價中最も遲れて低落の途に就きたるを以て土地賣買業者の如きは今後も商容易に持ち直らずと觀測する者多きが京城市街地の一等地たる南大門通りの如きは一時の高値に比し二三割下げの四百五十六十圓唱へなるも未だ至る程低落の度合甚だしく曾て坪當り七八圓唱への土地にして中値以下に陷り込みたる所も少からず更に地方に於ける水田價格は米價下落の爲め三四割の下落は免れざる現狀なるも土地擔保に貸出しをなせる銀行業者は概して土地價格の

最高値時代

のもの比較的少く貸出し率も六割位にて値下りに對する頭金は一巡受入れたる模樣なるを以て此際處分物を出すことありとしても其數は少かるべきも個人貸金業者中には最高値時代に可成の高率に貸出して苦心せるもの有る故此際手許の金融上投げ物を呼ぶに至らんか土地價格は更に下行きを免れざるが如し

本町筋の銀行戰
商銀漢銀兩行の進出

漢城銀行の第一銀行京城支店跡の買收交渉は價格の點に於て折合ず一致點を見出し難き由につき同行にては一銀跡の本町派出所開店を見合すの止むなき事情にある如きが然も漢銀の本町進出は右交渉の中絶に拘らず目本町二丁目に於て適當家屋の物色中にあり一方朝鮮商業銀行にては多年本町四五丁目並に新町方面の要望を容れ本町五丁目の適當家屋を借入現本町支店の派出所を開設する事に內定總督府當局の了解を得たる由につき遠からず開店すべきが主として預金銀行たるもの、如し尚ほ右漢商兩行の新たなる本町開店は本町筋に於ける預金爭奪戰を一層激しくするものと見得べく今後の形勢變化は各銀行によつて注意され居れるが一銀の移轉によつて多少の利益を得たる貸業銀行並に百三十銀行支店は若干の打擊を免れざるべし

京城現物團
組織成立す

京取仲買を退きたる近藤吉太郎氏等内鮮人十一名の現物問屋は今回相謀つて京城現物團を組織する事となり三十一日夜千代本に

發會式を

擧げたるが一部世上にては現物團の組織を京取市場に對抗する手段なるかに評する者もあるやなるが近藤古閑氏等の意向は京取市場並に仲買人側に於て如何なる意向を有つにせよ現物團としては市場と提携握手して

株式取引の圓滑發達を圖らん

とするにあり現物團の繁昌は結局市場の繁昌となるべく兩者は利害の衝突をなさずと云ふにあり事務所は未だ正式に決定せざれど明治町古閑氏方に設け現物團の出來値等は隨時公表する由從つて市場公定相場と現物團

相場の間に高低を生ずる事あるべく斯界に相當注意を惹き居れり

浦鹽商況沈衰
朝郵入電

浦鹽發一日朝鮮郵船會社入電によれば浦況沈衰益々濃厚となり當分恢復の見込みなからん輸入品は主として我軍の食料品にして輸出は皆無の狀態にあり港

月末資金需要

金融界は引續き新規資金の需要乏しく閑散不振を免れざれど流石に節季を眼前に控へ居れることゝて月末關係の旁々各地を通じ少なからぬ資金の移動あり鮮銀券も卅一日發行の現在は前日に比し百萬圓と斯くなりたるが八日の落止まで略同額を持續し其の縮少を見るは中旬過ぎならんと云ふ

內鮮航路は船舶の出入は左程困難を感ぜずと思はれしも困難を感ぜざるもの、如くなりといはるゝ

中鐵株主總會
配當年八分

朝鮮中央鐵道會社に於ては來る十九日東京に於て株主總會を開催する由なるが本期配當は八分なりと同會社の慶山線工事は殆ど完成せるを以て遲くも本年夏頃迄には營業開始の運びに至るべし

手形交換激減

昨年一月の四割強

一月中に於ける京城手形交換所の交換高は左の如し

枚數 六九、六九五枚

金額 二九、六五三、五六七圓

之を前年同月の財界好況時に比すれば枚數約九千枚減にして差したる事なきも金額三千八百餘萬圓を減じ五割強の縮小を示したりとなり

銀塊新安値

倫敦銀塊相場の一日當市入電は三十五片八分の一と入れ大戰以來安値の新記錄を出せり但し之を大戰前に比すれば尚ほ約十片方高く昨年の最高値より見れば五十四片の暴落なり

仁川在米增加

仁川穀物協會の調査に係る月末の六銀行在庫米は三等合格七萬一千叺地揩上玄三萬九千叺にして前月末に比し約五千餘叺を增加したるが廻漕數の增加に原因すと

利下げに就て

金融は梗塞せりと云ふも事實に於て有るべき筋にて相當の資力あるは一般の承認する所なるが此際貸金利下げをなすに於ては再び投機熱の煽揚をなすを杞憂する向あるも夫れは必しも同意せざる所にして戰後財界不況來の爲め機熱なりし思惑心は極度に沈靜せるを以て其結果普通商人として正當なる範圍に於ける見込買ひ迄も控へると云ふ現象を呈したる此等は寧ろ商人として常規を逸せざる範圍内に於ける見込買をなす位の勇氣は望ましきものなり若夫れ潮の滿干は表面よりせずして海底より漸次波動すると云ふ如き意味に於て貸金利下が財界立ち直りの原動力をなし次いで預金利子の引下となり進んで事業公債の募集好況ともならんか誠に之れ理想的胴調成ると某銀行業者は語れり

鮮銀異動
一月三十一日附鮮銀支配人に左の如き異動ありたり

營口支配人 榊原 健

總務部調査役 竹末 康辰

營口支店支配人

營口支店支配人代理 小副川馬太郎

鐵嶺出張所支配人 檢査部員 木檜 謙三

長春支店支配人代理

信託株好人氣

京城信託會社株式申込みは同社株式人氣相當に引立ちをれる際とて申込み少からず贊成株超過の模樣にて創立委員側は割當に腐心中の由

財界閑話

▲本町の一銀支店アトは七萬圓以上でないと中々賣らぬらしい▲曾て賣銀が本店として買ひ受けを交渉したが兩者の云ひ分に二萬圓の開きがあつたとの事▲夫れで一銀この行き惱みも略同樣の事情から來てゐる樣だ▲銀行も堅い所は斯樣な方面も頗る堅いと云ふ評判▲商銀も本町五丁目に派出所を開くさうだが近時東部の發展は目ざましい▲その發展に對應した計畫らしく同方面の預金は相當吸收するであらう▲漢銀が本町にやつて來る銀は更に五丁目に進むとなれば對抗上韓一銀行も選手として居れまいと云ふ說もある▲小賣商は財界不況の際にも小賣値を下げず相當儲けてゐる▲本町筋の預金力は案外にある各銀行はそこを覘つてゐるのだらう

株式(二日)
現株市場出來値

銘柄		前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄	三三・一〇	三三・一〇	三三・三〇	三三・三〇
	引	…	三三・三〇	…	…
殖新	寄	一五・三〇	一五・五〇	一五・五〇	一五・七〇
	引	…	一五・三〇	一五・六〇	一五・六〇
東新	寄	一六・五〇	…	一六・九〇	…
	引	…	…	…	…
東拓新	寄	二六・七〇	二六・五〇	二六・九〇	…
	引	…	…	…	…
仁取	寄	一五五・〇〇	一五六・五〇	一五六・〇〇	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	一三五・〇〇	一三五・五〇	一三五・五〇	一三六・〇〇
	引	…	…	…	…
同新	寄	四三・三〇	四三・五〇	…	四三・五〇
	引	…	…	…	四三・七〇
殖銀	寄	五三・六〇	…	五三・七〇	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	八・六〇	…	八・六〇	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	四三・二〇	四三・五〇	四三・二〇	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	二一・五〇	…	二一・五〇	…
	引	…	…	…	…
漢銀	寄	三三・五〇	三三・五〇	三三・五〇	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	三一・五〇	…	三一・五〇	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	五五・八〇	…	五五・九〇	…
	引	…	…	…	…
鮮土	寄	一一・五〇	…	一一・五〇	…
	引	…	…	…	…
朝紡	寄	一八・四〇	…	一八・六〇	…
	引	一八・五〇	…	一八・七〇	…
滿毛	寄	一六・六〇	…	一六・七〇	…
	引	…	…	…	…
京電	寄	四七・五〇	…	四七・五〇	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三一・四〇	…	三一・五〇	…
	引	…	…	…	…
電興	寄	八・七〇	…	…	…
	引	…	…	五九・三〇	…
東亞	寄	…	…	五九・五〇	…
	引	…	…	…	…
朝燐	寄	四一・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝紙	寄	二八・六〇	…	二八・六〇	…
	引	…	…	…	…
朝郵	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
南鐵	寄	一〇・〇〇	…	一〇・一〇	…
	引	…	…	…	…
中鐵	寄	五七・〇〇	五九・〇〇	五八・〇〇	…
	引	…	…	…	…
滿鐵	寄	一二四・〇〇	…	一二四・〇〇	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三三・八〇	…	三三・七〇	…
	引	…	…	…	…

東京現株

銘柄	一日前場	三十一日後場
鮮銀	一三五・〇〇	一三五・〇〇
同新	四三・〇〇	四三・五〇
東拓	五六・〇〇	五六・八〇
同新	一一六・〇〇	一一六・五〇
滿鐵	一二三・〇〇	一二六・〇〇
同新	五三・〇〇	五三・〇〇
殖銀	一一五・〇〇	一一六・〇〇
同新	一三〇・〇〇	一三一・〇〇
東株	八四・〇〇	八五・〇〇
同新	三七・五〇	三八・〇〇
連取	一五・八〇	一六・〇〇
滿毛	一七・五〇	一八・〇〇
朝紡	一二四・〇〇	一二四・〇〇
滿糖	二四・〇〇	二四・五〇
日紡	九五・〇〇	九五・五〇

大阪株式

銘柄	一日前場寄付	三十一日後場大引
大株	二五・七〇	二五・二〇
同新	七九・七〇	七九・八〇
郵船	三七・九〇	…
同新	五二・六〇	…
商船	六四・六〇	…
同新	二〇・六〇	…
鐘紡	二五五・八〇	二五六・四〇
同新	一四〇・八〇	一四二・六〇
東紡	一九・二〇	一九・八〇
同新	七七・二〇	七六・九〇
上取	七七・三〇	…

銘柄	一日前場大引	一日後場寄付
大株	二五・四〇	二五・九〇
同新	八〇・五〇	八〇・六〇
郵船	三六・四〇	三七・九〇
同新	五二・三〇	五二・五〇
商船	六四・七〇	六四・六〇
同新	二五六・二〇	二五七・四〇
鐘紡	二四二・〇〇	二四三・六〇
同新	一九・一〇	…
東紡	七七・二〇	七七・四〇
上取	七七・二〇	七七・七〇

大連株式

銘柄	三十一日寄付	止め
連取先當	三五・六〇	三五・八〇
同	三五・九〇	三六・〇〇
滿鐵	…	…
同新	…	二四・五〇

安東株式

	一日寄付	大引
安取先當	一八・七〇	一八・九〇
	一九・〇〇	一九・〇〇

前場は强調

今前場は久しく忘れられたる京取の氣合みを生じ今週二十三圓十錢と一本値に了りたるも來週物は可成りの活氣を呈し二十三圓十錢と寄付跡二十錢と伸びしも再び二十錢付二十錢に始めしが大引三十廻り同じく十錢に始め寄付跡三十錢と引締りて殖新は昨後場の下押しの反動より稍好勢に轉じて一圓四十錢引返して仁取亦昨後場高を受けて今週五十五方續騰し來週百五十六圓五十錢と方擡し來週百五十六圓五十錢と引締り京電五十錢高を示し朝紡、滿毛は落付模樣を呈せるが中鐵は賣物薄に乘じたる中津留一派の煽揚に今週三十七圓八圓と四圓方奔騰し來週は三十九圓と五圓四十圓と暴騰し六圓高に寄付その突飛値を現はし引けて一二十錢の高低を繰返せり

後場も氣丈

後場京取は二十三圓五十錢と勁かず殖新も依然氣丈にて今週十五圓十錢に引締め六十錢と引けて拓新四十錢高を示し仁取亦十五圓十錢高新二十錢に五十錢方上伸せるか新來週は二十三圓八十錢と同事に寄付跡五十錢高を示し滿鐵五十錢高中鐵は二十三圓八十錢さ同事に寄付跡七十錢六十錢八十錢七十錢方の上伸を示せるが人氣中心は依然乙部に移り就中安取戰猛烈を極めたり

後場ノ乙部

後場も依然安取中心相場にて云ふべき商盛を示し今週二十九圓八十錢と三十錢高に過ぎざりしも來週九十圓より二十圓臺に跳ね

上げ二十圓四十錢の高値ありて三十錢と打歩め[illegible]

安取の手口

最近興味を惹きし安取戰の手口を見るに左の如くなるが之れ以外本日後場のみにても更に千五六百枚の手合せあり益々喰合擴大しつゝあり

(賣方)犬島二七〇▲有田七〇▲新田一五〇▲中津留五二〇▲金秀一〇〇▲田中一八〇▲池田二〇〇▲井口六〇〇▲吉見一五〇▲櫻谷一〇〇▲(買方)南二三〇▲高松五〇▲金龍一〇八〇▲洪二三〇▲川崎一二〇

安取戰熾烈
人氣集中す

安東取引株は最近當市場に於ける人氣の中心を爲し商內高の如き一頭地を拔く盛況を極め居れるが今朝の乙部も依然買人氣旺盛にて今週十九圓二十錢と同事に寄りたるも跡別項の如き歩みを示して結局五十錢と引三十錢方上伸び來週は九圓五十錢と寄りて八十錢の高値ありて大引七十錢と打止めたるが眼先買方は東取以上の買あり

を目標に買進み
二十五圓見當

買方は安東に於ける實株潤澤を見越して吹値置買ひなる事を主張し從つて實行りの現を豫期し

十六圓臺の再

相當に行はれ居れるも斯く之れが爲め安東地場は當地高に刺戟されて漸次當地に傾向あり本日より更に五十錢の相場に比し八圓九十錢入れ先物十九圓と入れるも前日の十八圓三十錢に比し八圓九十錢入れたるが此の

して何日迄繼續さ

るべきや

頗る興味ある問題と云ふべし强氣の棒立ちが續くるか或は二十圓臺に一轉して賣方が行き詰るか若し腰折れか演ずるとせば安東より崩れか、るか當地投げ出しとなるか一般の注目を惹くに至れり

中鐵の暴騰

中央鐵道株は最近三十二圓處に保合ひて日立ちたる騰落を示さざりしが今朝突如中津留の煽揚に今週三十七圓に寄付八圓臺迄張りを示し三十七圓と引けて更に一層の騰勢を示し

四圓方の奔騰
六圓方の

前日に比し實に五六圓方の暴騰となれり右に就いては未だ詳しく判明せざるも近時原資材料の傾向と共に鐵道株は槪して强調を維持し殊に朝鮮に於ける鐵道株の補給付とふ關係より目先財界の立直りと共に拂込額面見當には漸次買上げらるべしと至らんか

前場ノ乙部

乙部は依然安取戰熾烈を極め今週十九圓二十錢と寄付四十錢、四十錢、六十錢きザリ高を辿りて五十錢さ付け二の廻り更に五十錢、六十錢あり五十錢と打止め來週十九圓五十錢入り一段の高値に買進まれて六十錢より八十錢迄引上げ結局七十錢と打

現物團成る

前京取仲買組合副委員長近藤儈氏同委員古閑豐記氏前仲買人土岐賢一の諸氏發起となり京城株式現物團組織の計畫ありしが其後の如くなるが今回愈々十一名の會員を得て別項の如く三十一日午後六時より千代本に於て發會式を擧げたる同團體は木五の氏宅に置かず事務所は未定にして當分會員の會合を置かず毎月一回集會を催す由其の會員左の如し

近藤儈▲古閑豐記▲土岐賢一▲本學之▲中西政治▲安田阪太郞▲成清敬助▲曹秉相▲方碩泉▲金永善▲康永祐

株界片々

京城株式現物團は內鮮人十一名の仲買を退きたる人々によつて組織された[illegible]業問屋組合の前身たる[illegible]組合の組織を當時の軍閥下にて[illegible]は一方に仲買組合なる制裁あり市場に相呼應して進まば成功すべきものもあらう▲此の團體の特色とする處は團長其他役員を設けず極めて平民的にモラシー▲それから第一の著眼は市場へ網をむる手數料丈け客へ勉强されると云ふに在るらしい▲而も五千圓の身元保證金を有効に利用し得ると市場仲買人に比し自由を有する事も一の强味であらう▲古閑氏は云ふ資本と信用の程度を示しなから機も其の眞熟れを先にすべきや▲信用さへ得れば資本は隨ひ來るものである其の機を得て無限に發展する事も知れぬ▲共の信用を得るには自己の思惑を離れて純實顧客本位に働くより外にない人は吾々の此の行動を如何に批評しても知れぬ暫らく靜察する者があるか評判を待つ[illegible]

主要株歩み値段

	安取(前場) 今週物	安取(後場) 來週物
	一九・二〇	一九・七〇
	二〇	八〇
	三〇	七〇
	四〇	九〇
	六〇	二〇・〇〇
	五〇	一〇
	◎	二〇
	五〇	三〇
	六〇	四〇
	五〇	三〇
	五〇	四〇
	五〇	三〇
	六〇	二〇
	六〇	三〇

田中高 乙甲 二千九百八十枚

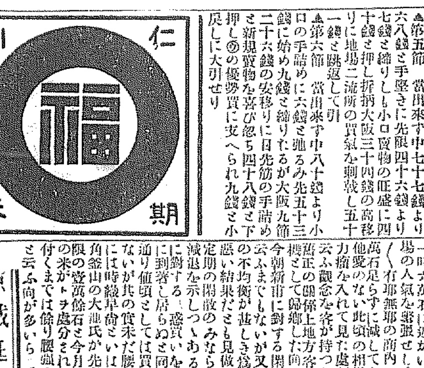
十二萬五千六百十六枚

累計 乙甲 一萬八千四百八十三枚

仁川米豆取引所仲買人

仲買店

電話 長六〇二番 受信略號 ニ(センイリヤマ)



米況(二日)
仁川期米
新甫安發會

月末の當限落より漸次軟調を辿りし場面は正米の不勢を受け今新甫は一段の賣氣を刺戟して當限來ざる中に貴人氣旺盛に二十一圓二十錢に始め

二十九丁安

前場發會したり

▲第一節 大阪新甫二十五圓三十錢高に始め十九圓五十錢と下落し發會に當り十九圓より克く賣り出して十九圓五十錢高の限月押しに六十錢と盛返し三圓五十錢と傾向し九十錢め四十錢と二十三圓十錢に寄付し四十錢めしより五十錢安の商談によく賣物を消化して三十錢の買ひ小口の賣物五十錢の[illegible]して二十一圓六十五錢と顧りして押し

▲第三節 大阪二十錢落の爲に一節の入氣しか四圓四十錢と引ひ當限先限中頃の寄付より上口の賣物に堪へ込み六十五錢と上限に始め[illegible]

▲第四節 當六十錢中七十六錢より上手詰め買ひに八十錢と押し先四十八錢と伸びてより五十錢と締りし先物は小口の賣物に堪へ乘せて當限四十五錢と押し

跳ね返し六錢と手堅く引

▲第五節 當限來す中七十六錢より上手詰め買ひに八十錢と押し先四十八錢と伸びて押し

▲第六節 當限來す中八十錢より上手に始め九十錢と締り

四十八錢こ

[illegible]

發會混戰

例年上期を至當とする新甫四限は四圍の市情異なる年柄と實氣の旺盛な當り限に比し四十丁の下期に初發を限りに以前の大阪の漸落ありと雖ども正米の不勢と先物の安氣に一部の正來の分は中より安で遣り買ひ節に傾けるは三百石の買物あるも忽ち氣勢を挫き直に三十丁高を演ずるが至る

樂觀賣を許さず

大阪二十五圓三十一錢と五十丁の下期に初發を演ずるも其の早期の反撥力の鈍きを見て左に遣るゝ點あるは未だ當時期の不勢の相場が稍氣早く發會の安値を見て飛付難き薄商の押目と見做され飛付難きなるも[illegible]

內地正米低落

內地正米は地方安に各地不勢の拆柄期米漸減の發會安を受け今朝は更に相場は正米を中心として眼先の人氣に支へられ易くも強く正期待の出數に一巡せし處へ金融上の投物も枚數が整理せし程に現はれず茲一般正米在米漸減の據合ひあり從前の如く値頃の點にあり旁賣餘りの樂觀賣は許さるゝの如し

五十錢安

東京入電十錢安を報せり
大阪下關は共に

賣買引差屁

	賣方	買方
	㊥一、二〇〇▲㊁四、六〇〇	恩八、九〇〇
	㊤三〇〇▲㊟九〇〇▲田二〇〇	▲㊎一、九〇〇▲㊞五〇〇▲力六〇〇▲又九七〇〇
	㊉二、一〇〇▲㊀四〇〇▲㊑三、一〇〇	▲㊈一〇〇▲㊉三〇〇▲三引
	㊀三一〇▲恩八、七〇〇▲目五〇〇	四〇〇▲㊂五〇〇
	㊁三〇〇▲㊥〇一〇〇	㊀七〇〇

仁川米豆取引所仲買人

仲買店

電話 九〇二 長九〇六 略(ミ)又八(カネミ)

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

今村覺次郞

電話長三三〇番 三六八番

仁川米豆取引所仲買人

仲買店

仁川海岸町三丁目 電話長一〇二 二六二 五五五

前場商內

二月中渡	玄米二百石 二、五五
二月末渡	百石二一、六〇
三月中渡	百石二一、六五 ▲二百石
二月末渡	三百石
三月末渡	三百石二一、一六〇▲百石
取組高	二一、五九▲三百石 ▲百石二一、五八 (三十一日現在)
二月中渡	米 六百石
二月末渡	千四百石
三月中渡	七百石

京城延取引

前日の商盛後先新甫發會の當日とて今朝は一入來場面緊張の裡に立合ひ客の氣か喰ひ場の發會安と正米の不勢しが各地期米の發會安と正米の不勢に對する手仕舞ひ又は新規買もあり二月中二十一圓五十錢と同末六十錢三月中六十五錢より五十九錢八錢押し前三月末は六十錢と始め跡六十錢と押しザリ安を告げ合計千三百石の取組あり居りて打止めたるが地方に比し割高の擬ある丈一般人氣は買に傾き居れり

玄米

[illegible]

大豆

買物一般落後を受けて形勢不良の期殆ど皆無の姿なる上期の正米の安氣配を受けて形勢不良の上期からず市況の唱へなるが其劍けつゝ來地下盡りの傾向又は新甫の期間物十一圓五十錢と郊外浦仁川著十へ圓處の賣物に對し追み入なしさればべし

期米雜觀

一時六萬石に近かい大取組を示し場の人氣か非常に張りしが此限りが解ける〱有耶無耶の商內に辨合ひ二限目左の商內に邊もなく時機か斷たず大取組を示す中當限の商内に辨合ひ二限目相場を待ちて反撥する事と極めて落付きを示しつゝあり今朝期米の發會は意外にも強く大阪の立合も意外に高く前週七十八圓七十八錢と買ひ手の三十錢の大相場は[illegible]

[illegible]

▲第一節 當限來す中二十一八十四錢先一圓七十錢と二十一丁高に寄付一圓九十錢と押しは當限來す中二十二圓より當限來す中二十二圓公定九十六しも六十七錢と就込まれて引公定七

▲第二節 中一圓九十一圓より八十錢と二十一錢引公定八十三錢先六十五錢と始め七錢と押し跡六十錢と伸びて五十八錢引公定五十九

後場强硬

▲第三節 中一圓九十一圓より八十五錢と二十一錢と五十九錢と迫り公定六十錢より二十九錢

▲第四節 八十三錢先六十錢高に先五十八錢と二錢引公定五十九

現在高	當限 一九五八 先限 一、七二二、三八
取組高	三千七百石
出來高	一萬五千八百石
累計	二萬五千二百石 一六、四五四、四〇〇石

京城正米市場

期米發會安に加へ沿線地方の正米の不勢にて平壤合格米乘りの二十一圓五十錢見當を標へて人氣を乾化せしめしが取引一圓內輪群山二十一圓五十錢見當を標準に寶應するものなく自然相場下落の狀態にて地揩上玄十九圓九十錢乃至二十八圓九十錢見當を唱へ二十錢安の處に支へたり

移出白安模樣

內地正米の安氣配に連れ白米移出口の引合ひ面白からず賣人側は依然大阪沖著の二十六圓五十錢處を維持し強張しつゝあるも此邊皆目人なく昨午後某所への入電によれば形勢不良二十六圓捌みの買氣なりと

南大門驛廻穀

鳥致院白米二〇叺▲全谷米二〇叺▲鳥山白米三〇叺▲平澤籾一八〇叺▲水原白米二三〇叺▲瑞興綠豆二四叺▲新幕綠豆四五叺▲南川綠豆四五叺▲東幕大麥三三叺▲同高粱一五叺▲水原大豆八六叺▲仁川大豆八五叺

群山正米

二月中限二十一圓五十錢同末限二十一圓六十二錢三月中限一圓七十五錢(二日)

釜山正米

更に四五十錢安

內地期米昨後場の漸落に續いて今朝堂島市場暴落の入電あり軟調に推移しつゝある氣先影響可也深く氣勢頓に沈衰し

大豆 三等紳力二十一圓六十錢に遣りて寄付二圓二十錢にて四十叺出來たり二十錢安の氣勢を示し京釜線物三四十錢見當の十圓九十錢前にて約六百叺の商ひあり先と同じく平穩約束なり(一日)

大阪期米

	寄付	止め
四節	不明	
五節		
當限	二十五・四四	
中限	二十六圓三十五錢	二六・六三
先限	二十六圓〇八錢	

大阪受渡高

堂島市場に於ける一月限受渡し高は三萬五千七百石なり

東京期米

	前場	後場
寄付	二五・四〇	二五・五五
二節	二五・三〇	二五・五一
三節	二五・〇〇	二五・五二
四節	不明	
五節	二五・四四	
當限止め	二十六圓三十五錢	二六・六四
中限寄付	二十六圓〇九錢	二六・六三
先限止め	二十六圓〇八錢	

下關期米

	一日前場	後場
當寄	二六・〇〇	二六・〇〇
止め	二六・〇〇	二六・二四
中寄	二五・八一	二五・七二
止め	二五・七〇	二五・八五
先寄	二五・三一	二五・四〇
二節	二四	五四
三節	二五	四九
四節	二四	四八
五節	二四	四八
六節	三〇	
七節	二四	
八節	二八	
九節	二六	
止め	二六	二五・四五

各地期米

	一日前場 寄付	止め	後場 寄付	止め
當限	三三・四〇	三三・九一		
中限	三四・四〇	三四・三四		
先限	三四・六〇	三四・八〇	三四・〇〇	

	三十一日後場止め	
東京	二六・三九	大阪 二五・九〇
兵庫	二五・九二	下關 二五・七三
桑名	二四・三九	名古屋 二五・一四
熊本	二五・六五	金澤 二四・六三

大阪三品

一と新安値

二十五片八分の

倫敦銀相場二十五片八分の一と新安値に激落し米棉又六十錢方低落せり

	一日前場寄付	前場大引
二月限	三四・六〇	三五・九〇
三月限	三四・七〇	三四・〇〇
四月限	三五・〇〇	三四・〇〇
五月限	三八・六〇	三五・〇〇
六月限	三八・一〇	三五・八〇
七月限	三八・六〇	三七・〇〇

	一日後場寄付	後場大引
二月限	三四・七〇	三五・九〇
三月限	三四・一〇	三六・〇〇
四月限	三五・一〇	三五・〇〇
五月限	三七・一〇	三五・八〇
六月限	三八・〇〇	三六・八〇
七月限	三八・〇〇	三八・一〇

商業登記公告

振威勸農株式會社登記事項中變更

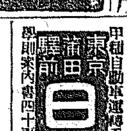
一、各株ニ付拂込ミタル株金額金五拾圓

右大正十年一月三十一日登記

京城地方法院平澤出張所

メリヤスシャツ

一枚 一組 二四九十錢均一



其倉庫業者の處分品一千二百ダースを一手に引受けた爲めの大廉賣をなす防寒用一日もなくてならぬ柔かくて暖い二枚一組の高等メリヤスシャツ霜降毛毛晒のもの一圓九十錢均一何れの品も責任保證を持つた法外の大安賣!

御希望の方は今直にハガキにて申込まれたし代金引換にて送る

東京市日本橋區本石町一丁目 毛織物問屋 關谷商店

電話長三三三四

新田耐水調帶

朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行

京城南大門外 白神洋行支店

新田帯革

(定價表御申込次第送呈)

鐵砲は獵の漬 金丸に限る

(定價表郵呈)

橫濱市本町

合資會社 金丸銃砲店

(店主 四村調龍)

金銀

地金商 德力本店 出張所

京城明治町一丁目九九番地

電話一五七二番

株式名義書換停止公告

當會社定款第十三條ニ據リ來ル大正十年二月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止ス

大正十年一月

朝鮮京南鐵道株式會社

中部自動車運轉手に志す人は本校に來れ!最高率合格試驗成功確實 學則來內書四十頁を三錢代送す 先づ東洋第一の教授振りを見よ

東京 蒲田驛前 日本自動車學校

山林種苗大廉賣

長野縣 木曾上松 蜂須賀兄弟商會

瀨戸 外科 皮膚科 醫院

(診察夜九時迄)(電二四九八番)

京城旭町二丁目(通三丁目)

醫學士 瀨戸 潔

目下京城に於ける株式現物界の趨勢に鑑み下名等茲に京城株式現物團を組織し現物問屋本來の目的に副ひ最も親切に最も確實に營業可致候間特別の御引立奉願上候 敬白

組合員氏名
(イロハ順)

明治町一丁目五九	中西 政次	電話三六〇
旭町三丁目九	㊦ 土岐 賢一	電話一九九六
南大門通一丁目	李 應善	電話一八六六
淺岸洞四一	㊋ 曺 秉相	
黄金町三丁目一四一	成清 敬助	電話一四九〇
古市町	㊇ 近藤 脩	電話一八二七六
茶屋町三二	康 永祐	
明治町一丁目五七	㊦ 古閑 豐記	電話長三〇二〇
本町一丁目	安田 阪太郎	電話三三三六
光化門通り一九〇	坂本 學之	電話三三二四
觀水洞	金 永善	

撫順炭

滿鐵撫順炭特約販賣店

官營平壤無煙煉炭販賣店

京城府義州通一丁目

ヨ 近藤謙助商會

電話長八三五番 振替京城五六八三番

銀行一般の業務特々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

資本金壹千萬圓

頭取 安田善三郎

京城本町二丁目

株式會社 百三十銀行京城支店

電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一三一番

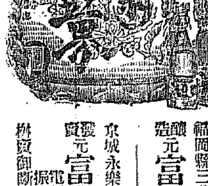
入院隨意

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)

酒井婦人病院

電話一六〇番 酒井一郎

優等清酒



福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店

京城永樂町二丁目 販賣元 富安京城支店

電話長一〇三九番 振替口座四三九番

桝賣御斷

りん病は消渇と

多年の經驗でも只一劑でヨクナル他に類なき妙藥あり切手三錢送れ入助けに無代で教ゆ

名古屋市南かじや町 武藤龜吉

仁川 佐藤病院

電話四〇九番

院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎

入院應需

曙（あけぼの）

徳田秋聲　作
近藤紫路　畫

第五十七回

良人の疑ひ (1)

辰衛は歸朝以來、絢子の傍に附纏つてゐたのは勿論ないし、文平は妻の父と貸借上のことで、問題を醸してゐる上に、お須磨といふ若い女を――それも妾でもあることか何とかを正妻として籍を入れたのも、何だか自分等夫婦への對抗運動か何ぞのように思はれて、不快であつた。そのお須磨が此頃は隙さへあれば、傍へ寄つて來て、愚にも付かないお饒舌をして、無駄な目遣ひなどするのが、堪まらなく煩さかつた。

洋行前までは、父子の情愛がもつと有つたやうに思へた。無論、空手で巨萬の富を作つた男だけに、細かい人情や、美しい感情には缺けてゐた。冷酷ではないながらも、我の強いところはあつたが、その代りに氣性は別合に豁如としてゐた。それが此頃では、不思議に片意地なところが出て來て、父子の親しみが薄らいだやうに思へてならなかつた。

辰衛はそれが何となく不安であつた。そして、それにはお須磨が何か水を差してゞもゐるのではないかと思はれて、氣がおけてならなかつた。それで、お須磨には成るべく觸らないやうにしておかうと思つて、避けるようにしてゐたのであつた。しかし、あの洋館以來彼女は一層狎々しい態度になつて、背嚼染か何かのやうに、巫山戯た口さへ利くのであつた。そして、何かと云ふと、絡みついて來るやうな調子であつた。

辰衛は、それが煩さいので、ある日絢子を迎へに行くと言つて、ふいと家を出て修善寺へ行つて了つた。それは絢子から手紙を受取つた日の翌々日であつた。

汽車に乗つたゞけでも、彼はもうせい／＼するやうな好い氣持であつたが、絢子に逢ふのは一層嬉しかつた。絢子は健康も殆ど恢復したし、東京のことも氣懸りであるので、早く辰衛が迎へに來てくれゝばい可いと思つてゐたで何時にない懷こい表情をして良人の顏を見た。

『私もう東京へ歸りたくて／＼爲方がなかつたんですの。』

絢子は緣の椅子に倚つて、庭の石の間を流れる水を眺めてゐる辰衛に話しかけた。

急に暑くなつたので、此所の宿はどの部屋も何の部屋もぎつちり詰まつてゐた。

『然うだらうとも、もう餘程長くなるわね。』

『ね、今日でもの一月と二十日よ。つい二週間くらゐと思つて參りましたのに、隨分長くゐましたわ。』絢子は幾らか色が黑くなつたかと思はれたが、それだけ血色も好くなつて、頰や頸にも肉が付いて來たようであつた。

『よく辛抱した方だね。だが、病院にゐるより優だらう。』

『餘り然うでもありませんわ。』絢子は笑つて『それあ一週間や十日はね。山や川なんかも珍しいから可ございますわ。ですけれど、一月も幾らも同じ部屋に居て、同じ山と睨めつくらをしてゐて、ね、毎日判で押したやうにお湯に入つちや御飯を戴いてるんですもの、好い加減あなた倦々してまうぢやありませんか。』

『だけど己の所爲ぢやないよ。』と、辰衛は笑つた。絢子も引き入れられるように嫣然とした。

『しかしね。』と、辰衛は煙草に火を點けて、悠然と喫ひながら『東京も餘り感心しないよ。生活に變化はあると云ふもの、、詰りは同じことを繰返してゐるんだもの。己はまあ一週間ばかり此處に遊ばして貰はう。家が煩さくて仕方がないからね。』

『家が煩さいんですつて？』と絢子は聞咎めて、『奈何してゞせう。』

『何だか知らないがね、此頃はさつぱり面白くないよ。一つはお前がゐないせゐもあるがね。』

『私なんかゐなくたつて……。』絢子は獨語のやうに言つた。

『心細いことを言つてくれちや困るね。お前がゐなくて、家が面白い譯はないぢやないか。』辰衛は熟と妻の顏を見た。

パン 菓子 薬乳 キムラヤ 明治町 電一七八〇 二八〇

産婦人科 京城壽町 醫學士 二宮醫院 電二一二〇 二宮亮吉

皮黴科 (診察夜九時迄) 皮膚病 黴毒 淋病 花柳病 (入院隨意) 京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一六七參

日報詞苑

≡投稿歡迎≡
△和歌 題自由
△俳句 同
△川柳 題不定即席發表
△情歌 題『夢』『掟』
△制限 各題共五首…五句以內
△締切 毎土曜日
△用紙 葉書に限る
△宛名 京城日報社日報詞苑

川柳　創花坊選

病。

鏡南浦　可敗
飲みこぼす藥が傳ふ肋骨
横痃生藥のにほふ家から出
三ッ目横痃の痕ぞ女房知り
何府の次男だこいふ行倒れ
女房が入院をして金魚死に
感冒虎列拉陰謀を煮ら神仙媚
青い顏父親に似た咳をする
診察の歸りに娘身を投げる
しみじみと過去を振向く施療院
交番をよけて脚氣は蹊を踏み
姫君の脈に御典醫腕をくみ

木浦　謙窓
花柳病句にも歌にもならぬ也
病床へ今宵も響く寺の鐘

仁川　夜叉王
病兒抱いて女房のやつれたる
南天の實を數へてる蒲團

○婦人科で亭主の病氣敎へられ　鐵山　拜天生
○欠席の理由にされる風の神
○送金の都度病身を云つかはれ　全北　啞氣郎
○無心状醫者をだまして診斷書
○病院の古參にされるしあはせ

次の川柳

課題　『河豚』『姑』
賞金　天の句へ壹圓
締切　二月十日
句數　五句以內
宛所　本社詞苑係宛
用紙　端書に限る

河豚（ふぐ）
例句　古川柳
鞆の河豚豆一命を惜まんや
作棒をかつぐ夕べの河豚仲間
河豚汁を食はぬたわけに食ふたわけ

姑（しうとめ或はしうと）
例句　古川柳
下女いびり泥んや嫁に於てをや
叱らずと隣の嫁をほめて泣き
姑婆ごうじくれても年ながし

痛快な間島節

昨夏以來間島に出張中の本町署長間島警部から同署鈴木警部に宛た私信の中に去林將軍顧問齋藤大佐の手になつた間島附鴨綠江節があつた其の一二を紹介しやう

老嶺夜襲

老嶺の峰か嵐か月影に　探す部隊は西東
チラト認めし敵の跡　愉快だ又打ち出す機關銃
老嶺の森に潛みし不逞團　木の根岩角打ち越えて
進みして五十時間　愉快だ又突き込む敵の陣
頭爺、秋風、狙る鼠輩をやさして　征服抓引き上ぐる
用なみ騷ぐや扇子。街頭は又伊井に兵を呼ぶ

▲午後十二時を過ぎては絃歌放吟を禁じられるは勿論なる仁川の町鮮娼の通路に面する岡町及び敷島町は夜半二時三時頃でも何んの御構なく卑猥な鮮歌を唸り間の抜けた馬鹿に大きな聲で喚鳴ること殆んど毎晩の様です誰でも明日の仕事のない人はありますまい之がため小兒まで目をさます事は珍らしくありません以前と變り此頃は夜中の巡邏を見た事がありません是は其筋の取締がゆるんだ爲でせうどうか安眠の出來る樣特に本町署へ御願いたします（迷惑生）▲和共文藝愛好者の手によつて創造された若い純文藝雜誌『虛影』の內容もどうやら芳烈な幽微の香が微かに反めいては居りますもの、多數の熱誠ある會員の御援助を俟ち尙より以上意味あるものに向上させ度く思つて居ります御入會希望の方は何卒本欄まで（京城さしみ）▲今般某新聞に大いに本校の夜行軍について攻擊してありましたが我々は毫もそんなものは厭はないのであります中學生の中に意氣地無しの野郎が二三名居ります中學校の夜行軍を非難する奴原はこんな奴等の父兄でありませう（一中學生）

廣告

工 關釜連絡船
釜山發 朝七、五〇 夕八、三〇
二日 朝、對馬丸 夕、博愛丸
三日 朝、壹岐丸 夕、新羅丸
四日 朝、對馬丸 夕、博愛丸

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

往診 自午前八時至午後十二時 花柳病は特に夜間診察
宅診（午後一時以後）
仁川仲町一丁目（仁川倶樂部隣） 壬生醫院 電話六一六番
入院隨意 略痰、血液、糞尿其他細菌的試驗診斷の需に應ず

天下の名釀
白鶴
發賣元
合資會社 增田屋商店
仁川府本町

イケダ小兒內科病院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目電話（病二二三四番 自宅三〇〇〇番）

賀化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
醫學博士 古城憲治
內科 小兒科 入院隨意 施療す 每日五名を限り

貴金屬製作 時計眼鏡
仁川本町
糸岐商店
電話三七〇 振替京城七一一番

東海生命相互保險會社
共同火災保險會社
ニウジランド火災保險會社 代理店
綿糸布及雜貨 輸入貿易商
仁川本町四丁目 河野本店

資本金貳百萬圓 諸積立金四十七萬參千圓
京城府南大門通一丁目十九番地
株式會社 朝鮮商業銀行
電話長五五八番・六八一番 振替京城一六三四番
銀行長 趙鎭泰
支配人 岩崎虎次郎
京城南大門支店・同本町支店・同東大門支店・仁川支店・平壤支店・群山支店・利川支店
內地、朝鮮、臺灣、青島、哈爾賓、上海、滿洲の各樞要なる地に於ける御取引の便有之候

設計 監督 中村建築事務所
京城蓬萊町四丁目 電一九七七
大連山縣通一〇〇 電二〇四五
東京麴町區內幸町一ノ六 電新橋三七九
朝鮮銀行建築顧問 工學士 中村與資平
獨逸工學士 アントンフエーレル
工學士 久留弘文
技師 岩崎德松
工學士 宗像主一
技師 船曳李介

平壤 無煙炭
御用命次第何時ニテモ御屆可申候
京城太平町一丁目 川添商店 電話二三八五番
京城太平町二丁目 內田商店 電話二一五一番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九〇番

醫化學諸器械一式
Ⓚ
仁川本町 北島藥店 電話二三四・振替京城六七番
京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

藥種賣藥卸商

品目
福助朱子足袋
福助紺足袋
福助白キヤラコ
福助ペツチン
福助コールテン
學生足袋

福助足袋株式會社
本社 大阪府堺市
東京 京都 名古屋 小樽 大阪 福岡 新潟 廣島 金澤 門司 仙臺 京城

京義線	
[illegible]	[illegible]

馬山線	
[illegible]	[illegible]

京仁	
[illegible]	[illegible]

日本郵船出帆
△大連天津牛莊行
高砂丸 月 日正午出帆
濟南丸 月 日正午出帆
花咲丸 月 日午前出帆
[illegible]
仁川 [illegible] 電話 [illegible]

共同汽船出帆
△芝罘大連行
第十一共同丸 月 日午後八時
[illegible]
仁川海岸町 共同汽船株式會社
仁川代理店 野口回漕部
元山代理店 田口回漕店
京城取次店 河村運送店

尼崎汽船出帆
△釜山、木浦、下關、神戶、大阪行
一心丸 二月一日後五時出
神代丸 二月五日後五時出
大有丸 二月一日後五時出
印刷客御斷
仁川海岸町 電話五九番 高杉回漕部

互光商會汽船出帆
第三互光丸 釜山發
△一月三十日門司宇品神戶大阪行
第二互光丸 元山發
△一月廿八日釜山門司神戶大阪行
取扱店 釜山 大池回漕部 元山 田口回漕部

朝鮮郵船定期
朝鮮郵船株式會社
電話二二三一番・二二三三番
釜山支店 佐藤町 電一八四番
元山出張所 海岸通 電一〇二番
京城取扱所 南大門通 松原運送店

大阪商船出帆
△發山出帆（取扱店大池回漕部）
濟州丸 一月十一日大阪行
宗像丸 一月五日下關行
立神丸 一月十二日江原道行
[illegible]
△木浦出帆（取扱店山野回漕部）
櫻島丸 一月十二日橫濱行
新義州丸 一月五日大阪行
[illegible]
△仁川出帆（取扱店福岡回漕部）
[illegible]
△鎭南浦出帆
天智丸 月 日後四時出
石見丸 月 日後四時出
長良川 月 日正午出
△元山出帆
[illegible]
△淸津行
宮島丸 月廿九日後九時出
△發山門司宇品神戶大阪行
宮島丸 月 日後十二時
△大連出帆
△上海基隆打狗行
基隆丸 月 日後四時出
[illegible]
歐洲行 每月四回
南米行 一年四回
濠洲行 每月一回
印度行 每月一回
△御注意 御乘船二時間前に御乘船下さい
大阪商船株式會社仁川支店
電話二二〇番 二五〇番
京城取扱所 京城通り 內國通運會社
仁川本町 開運館 仁川港町 慶田組